

OPEN & CLOSE DEVICE

OC 開閉装置

〔点検・脱着〕

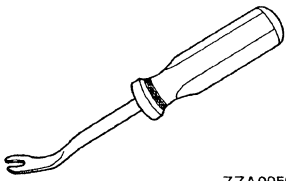
目次

準備品	OCe- 2
特殊工具	OCe- 2
一般計測機器	OCe- 2
油脂及びその他	OCe- 2
フード	OCe- 4
フードロックコントロール	OCe- 6
フロントドア	OCe- 9
フロントドアフィニッシャー (4ドアセダン)	OCe-11
フロントドアフィニッシャー (2ドアクーペ)	OCe-14
フロントドアロック	OCe-15
フロントドアロックASSY	OCe-17
フロントドアガラス及びレギュレーター (4ドアセダン)	OCe-18
フロントドアガラス及びレギュレーター (2ドアクーペ)	OCe-20
フロントドアウエザーストリップ (4ドアセダン)	OCe-23
フロントドアウエザーストリップ (2ドアクーペ)	OCe-24
リヤドア	OCe-25
リヤドアフィニッシャー	OCe-26
リヤドアロック	OCe-28
リヤドアロックASSY	OCe-30
リヤドアガラス及びレギュレーター	OCe-31
リヤドアウエザーストリップ	OCe-33
トランクリッド	OCe-34
トランクリッドロック	OCe-36
トランクリッドウエザーストリップ	OCe-38
トランク及びフューエルリッドオープナー	OCe-39
サンルーフ	OCe-41
サンルーフユニット	OCe-41
作業別チャート	OCe-45
リッドASSY	OCe-46
シェードASSY	OCe-46
モーターASSY	OCe-47
サンルーフフレームASSY	OCe-47

OC

準備品

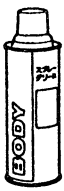
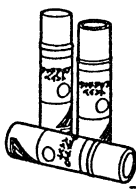
特殊工具

名 称	用 途	備 考
クリップドライバー  ZZA0959D	室内トリム及びフィニッシャー 取り外し用	既 設

一般計測機器


名 称	用 途	備 考
ノギス	寸法測定	
サーキットテスター	電圧、抵抗測定用	
電気ドリル	ガスステー廃却穴あけ	

油脂及びその他

名 称	用 途	備 考
防せいワックス M-97スーパー(淡緑色) KA910 89901	フードヒンジ及びドアヒンジ 座面 車体パネル合わせ部 塗布用	洋宝産業 (株) (TEL 03- 3542- 2355)
グリース ダブレックス#252 相当品	ヒンジ回転部 チェックリンクピン ガイドレール レギュレーターしゅう動部	(株)日本 鉱油
スプレーグリース KA410 89900  ZZA0960D	ドアロックラッチ・ フードロックラッチ及び レパーしゅう動部塗布用	各日産販 売会社 スリーボ ンド(株) (TEL 0426-61- 1336)
タッチアップペイント 注意：車体色のこと  ZZA0962D	ヒンジ取付ボルト頭部塗布用	各日産部 品販売会 社 (株)キヨ ス
ロックタイト#271、#262 相当品	ドアロックASSY取付スクリ ュー固定用	
プチルテープ ダイヤボンド工業 DB-255相当品	シーリングスクリーン接着用	

準備品

油脂及びその他 (続き)

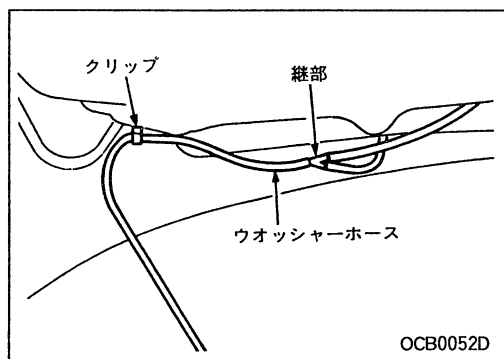
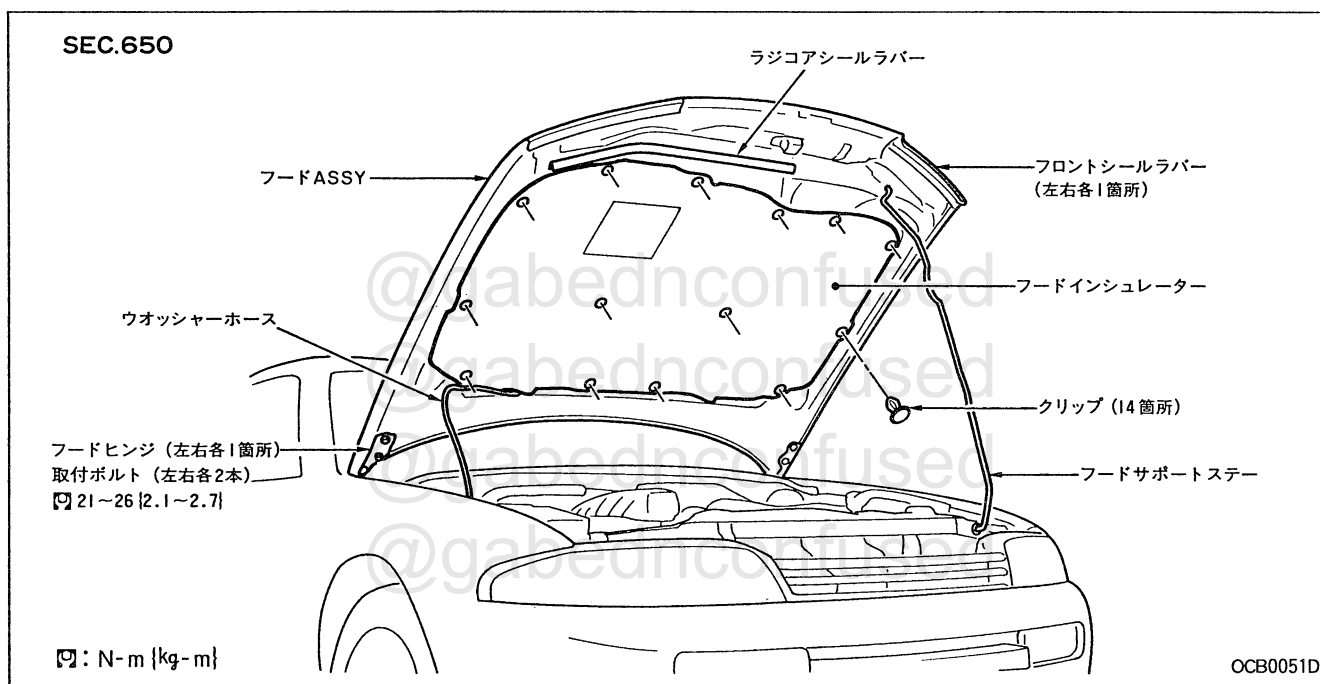
名 称	用 途	備 考
ブチルテープ 住友3M #8626 相当品	シーリングスクリーン接着用 ドアウエザーストリップシール用	住友3M (株) (TEL 045-323- 7638)
ホワイトガソリン	各部汚れ清掃用	
中性洗剤	汚れ清掃用	一般家庭 用品
MPスペシャルグリースNO.2 KRB00 12025  ZZA0963D	サンルーフフレーム及び リンクASSY 給油用	各日産部 品販売会 社 2.5kg缶
両面テープ 住友3M#4213 #5332 相当品	リヤドアパーティング シール取付用	住友3M (株) (TEL 045- 323-7638)

@gabednconfused
 @gabednconfused
 @gabednconfused
 @gabednconfused

フード

注意

- フードASSY脱着は2人作業で行うこと。
- 取り外したフードASSYは、各コーナー部にウエスを当て、傷付き防止をすること。
- 脱着時フードと車体及びフロントガラスとのすき間にウエス等をはさみ保護すること。
- フードステー脱着時は、フード前端ストライカー部にフードASSY落下防止用の支持材を当てること。
- フードヒンジ回転部及びフードロックラッチ部にボディーグリースを塗布する。
- フードヒンジ座面に防せいワックスを塗布する。
- 脱着後は必ず建付調整を行うこと。

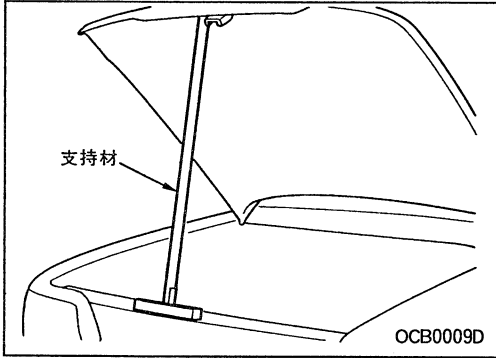


取り外し

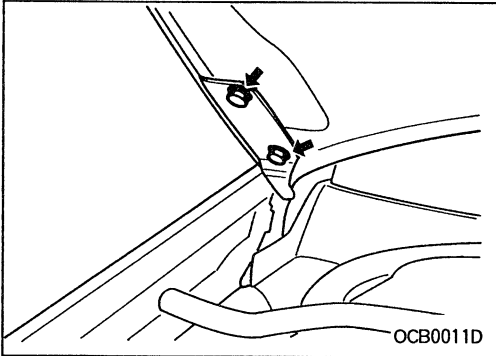
1. 取付クリップ (14箇所) を外し、フードインシュレーターを取り外す。
2. 左図箇所のクリップ及びウオッシャーホース継部を外す。

フード

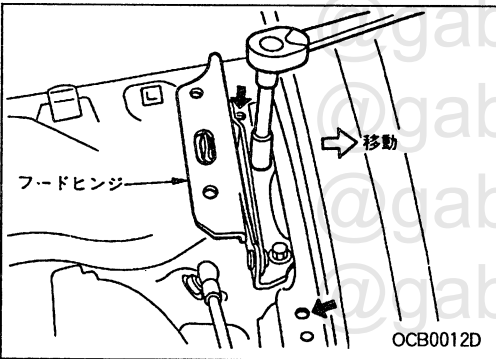
取り外し (続き)



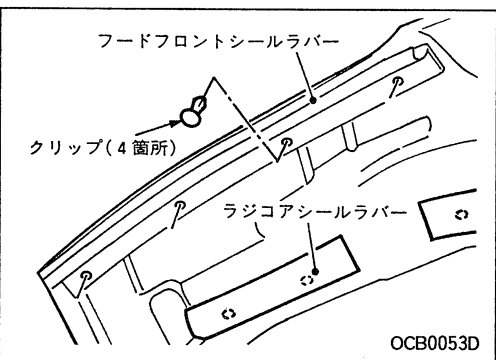
3. フード前端ストライカー部に支持材を当てて、フードASSYを支持する。



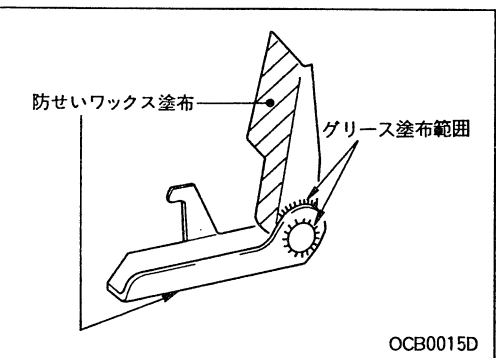
4. 取付ボルト (左右各2本) を外し、フードASSYを取り外す。



5. フェンダー上面のボルト (3本)、後端 (2本) 及びフェンダープロテクター取付スクリュー (5本) を外す。
6. フェンダーを外側にずらしながらフードヒンジ取付ボルト (2本) を外し、フードヒンジを取り外す。



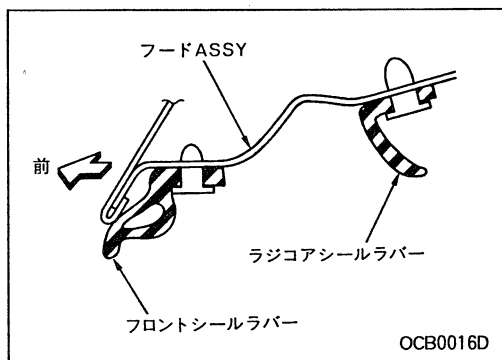
- 取付クリップ (左右各4箇所) を外し、フードフロントシールラバーを取り外す。
- 取付クリップ (右側5箇所・左側2箇所) を外し、ラジオアシールラバーを取り外す。



点検

下記部位の油脂を点検し、不足している場合は給油すること。

- フードヒンジ回転部にはボディーグリースを給油すること。
- 左右のヒンジ座面に防せいワックスを塗布すること。

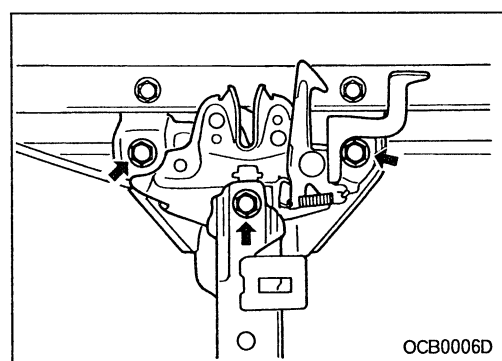
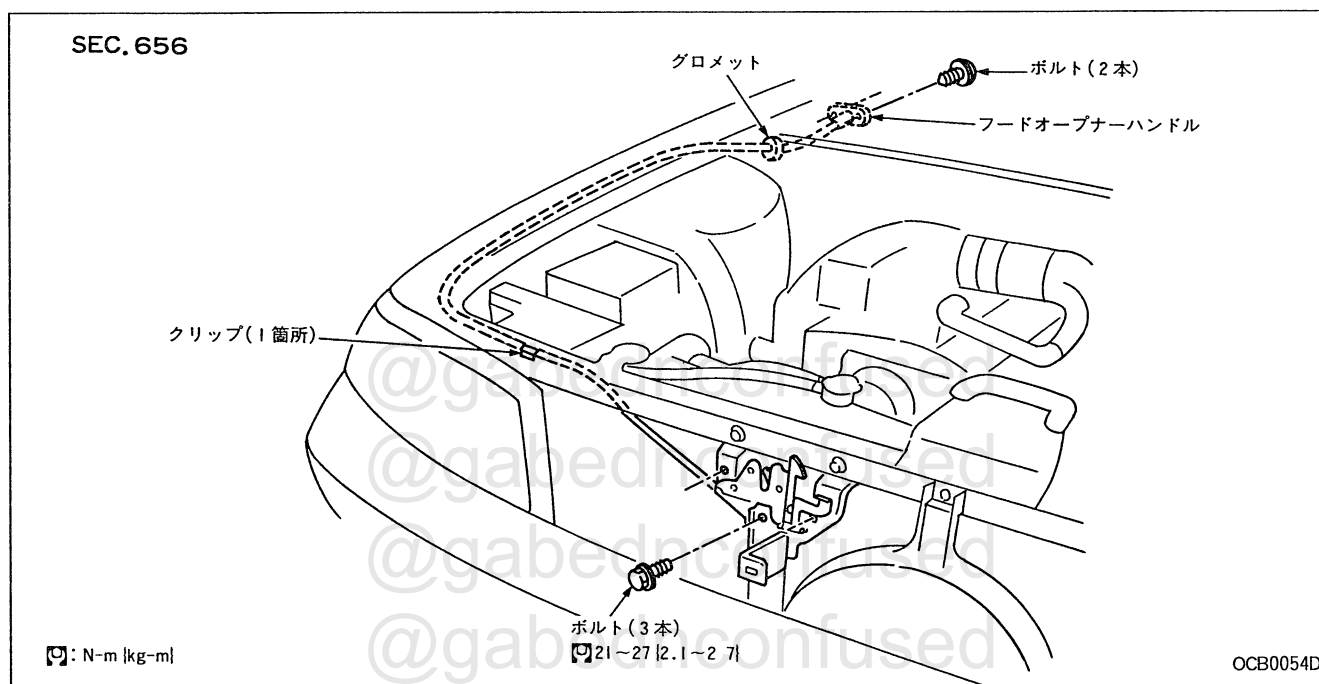


取り付け

取り付けは、下記作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

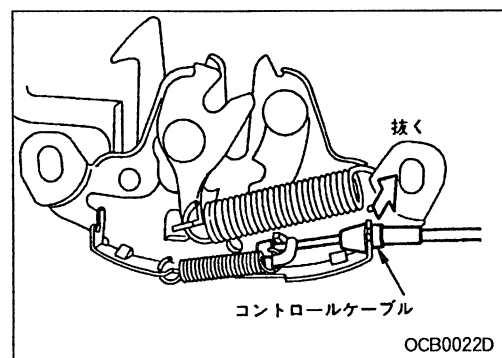
- フードフロント及びラジコアシールラバーは取付向きに注意して確実にクリップで取り付けること。
- フードヒンジ取付ボルトは締め付け後、頭部に車体色と同色のタッチアップペイントを塗布すること。

フードロックコントロール



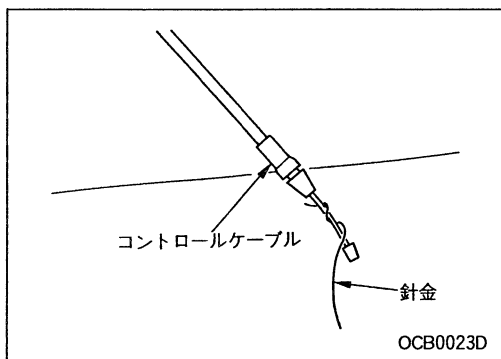
取り外し

1. フードASSYを開ける。
2. フロントグリルを外す。(「BE編フロントグリル」の項参照)
3. 取付ボルト (3本) を外して、フードロックASSYを取り外す。



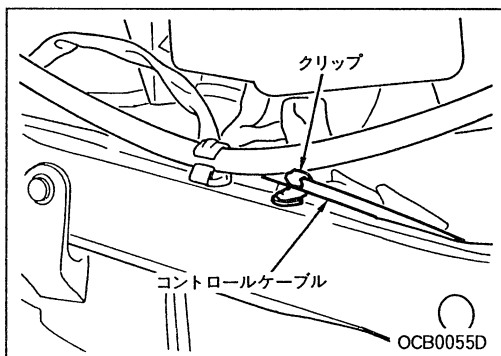
4. ロックASSY裏側のコントロールケーブルを外す。
注意：コントロールケーブルを曲げないように注意して行う。

フードロックコントロール

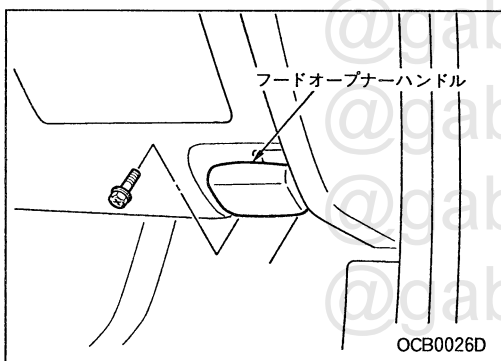


5. コントロールケーブルをフードレッジレインフォース内に通すときのためにフードコントロールケーブル先端に細ひも又は針金を固定しておく。

注意：コントロールケーブル先端を曲げないように注意すること。

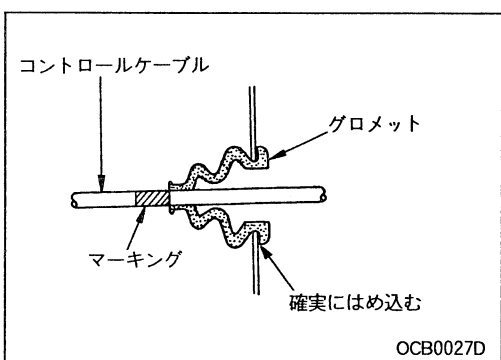


6. 右側ヘッドランプ後側のクリップ（1箇所）及びハーネスと共締め（1箇所）のクリップ部よりコントロールケーブルを外す。



7. フードオープナーハンドル取付ボルト（2本）を外す。
8. ダッシュ部のグロメットを外し、コントロールケーブルを室内に引き抜いて取り外す。

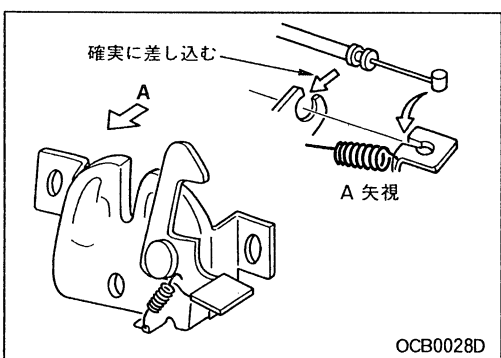
注意：引き抜くとき、車体穴でコントロールケーブルアウターに傷（皮ムケ）などを付けないよう注意して行うこと。



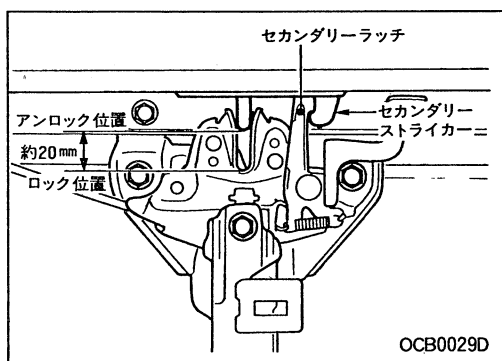
取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- コントロールケーブルは極力曲げR（R100mm以上）を大きくして引き込むこと。
- 位置決めグロメットからずれていないか確認した後、グロメットをパネル穴に確実にはめ込むこと。

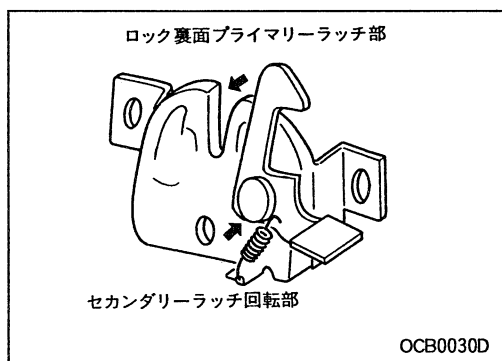


- ロックへのケーブル取り付けは確実にを行うこと。
- 取り付け後はフードロック調整及びオープナーハンドルの操作性を確認すること。



点検

- フード自重（約200mmの高さより自然落下させる）のみでフードロックセカンダリーラッチが、セカンダリーストライカーと確実に噛み合うか確認する。
- フードオープナーハンドルを静かに操作したとき、フード前端が約20mm程度、上がるか確認すること。また、フードオープナーハンドルが元の位置まで戻るか確認すること。
- フードロックコントロールケーブルに折れ、変形があるときは交換すること。

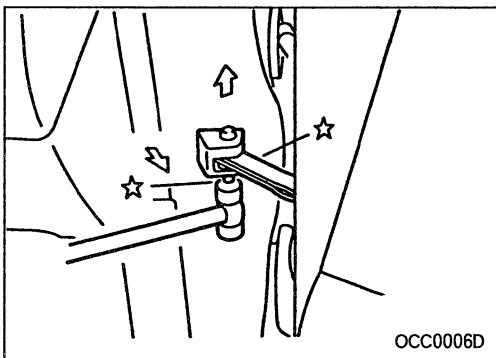


- フードロックの給油状態を点検し、不足しているときは左図箇所にグリースを塗布すること。

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

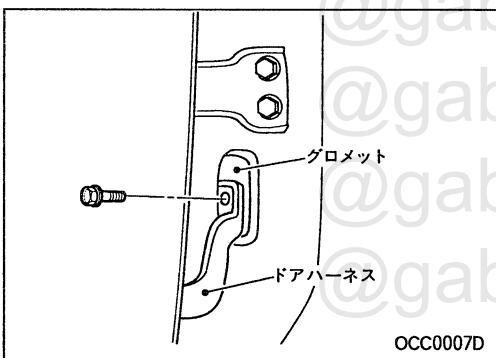
注意

- 脱着時、ドアに傷をつけないようウエスを載せたジャッキなどで支えること。
- チェックリンクは、左右の識別マークを各々上側にしてから取り付けること。
- ヒンジ回転及びチェックリンクピン部には日本鉱油製「ダブレットクス# 252」相当品（二硫化モリブデン入りグリス）を塗布する。
- ドアヒンジ座面及びチェックリンク回転部に防せいワックス「M-97スーパー（部品番号 KA910-89901）相当品」を塗布する。

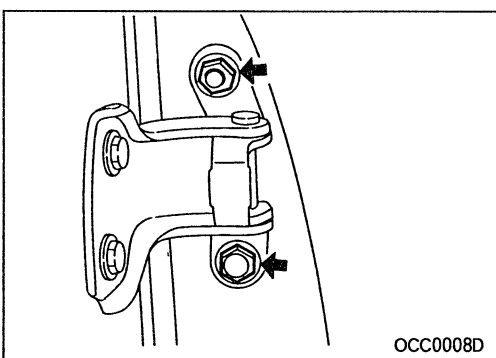


取り外し

1. ダッシュサイドドアフィニッシャーを外す。
（「BI編ボディーサイドトリム及びフロアトリム」の項参照）
2. ドアハーネスのコネクターを外す。
3. チェックリンクピン下側をハンマーで軽くたたいた後、プライヤーでチェックリンクピンを引き抜く。



4. フェンダー及びドア前端部が傷付かないように注意しながら、ドアを開く。
5. カバーを外し、グロメット部のボルトを外し、ドアハーネスを引き抜く。

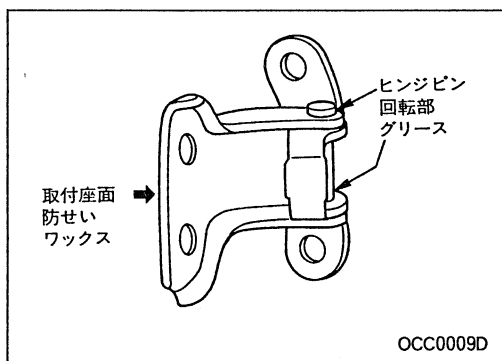


6. ドアヒンジナット（上下各2本）を外して、ドアASSYを取り外す。

取り付け

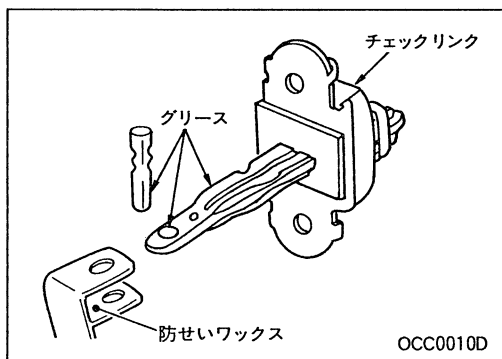
取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- チェックリンクにグリスを塗布すること。
- ドアヒンジ取り付けナットは規定トルクで締め付ける。
締めトルク (N-m [kg-m]) : 21~26 (2.1~2.7)
- ドアASSY取り付け後は建付調整を行うこと。
（「MA編主な点検調整要領ドア」の項参照）
- ドアヒンジ取付ナットは締め付け後、頭部に車体色と同色のタッチアップペイントを塗布する。



点検

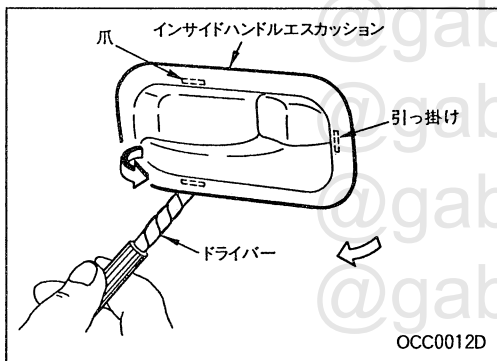
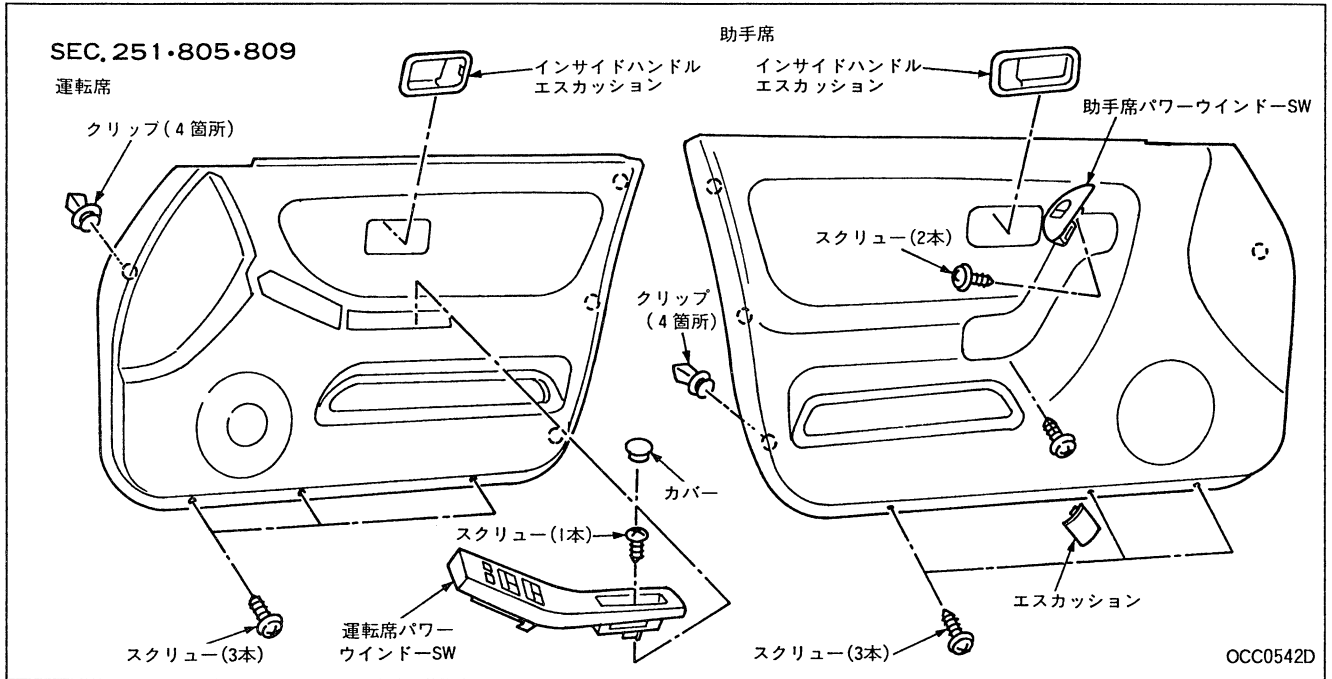
- ヒンジは次の項目を点検すること。
異音又は開閉が重い …………… グリース給油
構成部品の摩擦、損傷 …………… 交換
- 左図指示部にグリース及び防せいワックスを塗布する。



- チェックリンクの異常摩擦及び損傷がある場合は交換する。
- 左図指示部にグリース及び防せいワックスを塗布する。

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

フロントドアフィニッシャー (4ドアセダン)

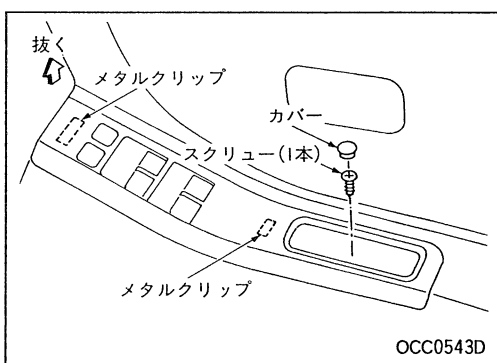


取り外し

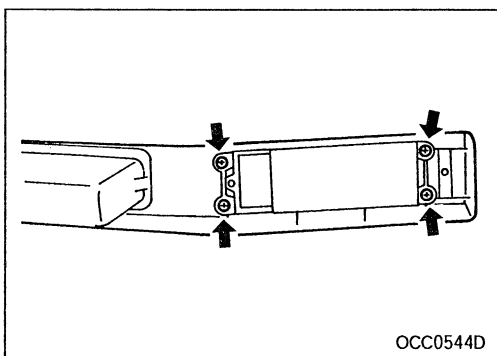
運転席ドアフィニッシャー

1. インサイドハンドルを引きながら左図箇所の爪部 (上下各1箇所) に細いドライバーを差し込みエスカッションを手前に引き出すようにして取り出す。

注意： 助手席エスカッションも同じ作業要領にて行う。



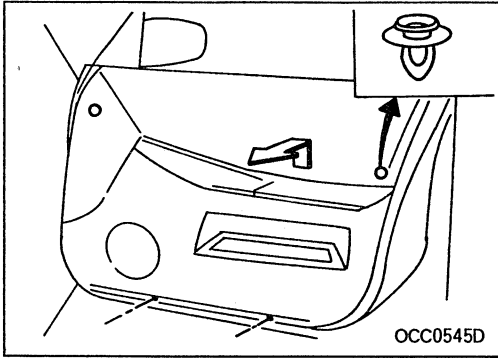
2. カバーを外し、取付スクリュー (1本) を外した後、前端のメタルクリップを抜いて運転席パワーウィンドーメインスイッチを取り外す。



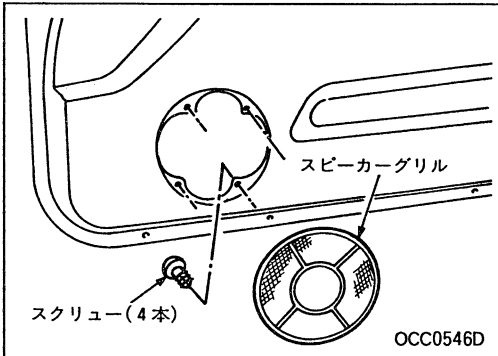
- 取付スクリュー (4本) を外し、パワーウィンドースイッチとエスカッションを分割する。

フロントドアフィニッシャー (4ドアセダン)

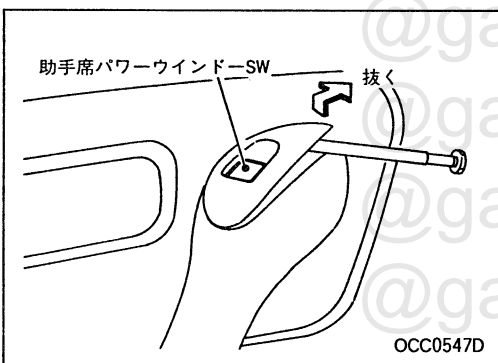
取り外し (続き)



3. 下端のスクリュー (3本) を外した後、クリップドライバーでクリップ (4箇所) を抜き、運転席フロントドアフィニッシャーを外す。



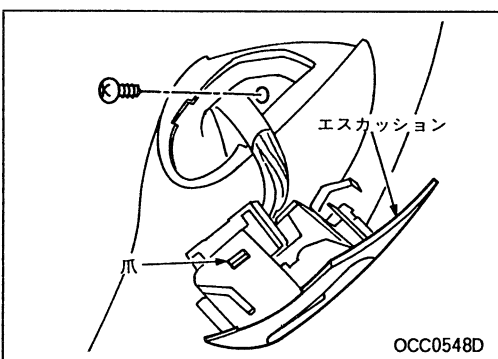
4. 取付スクリュー (4本) を外し、スピーカーグリルを取り外す。



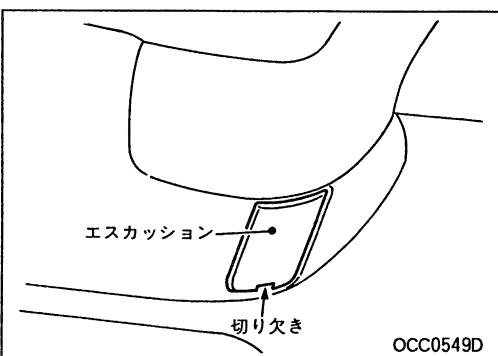
助手席ドアフィニッシャー

1. インサイドハンドルエスカッションを外す。
2. 細いマイナスドライバーをすき間に差し込み、助手席パワーウィンドースイッチを引き出す。

注意：スイッチ取り外しはドアフィニッシャー取り外し後、ハーネスコネクタを外して取り外す。

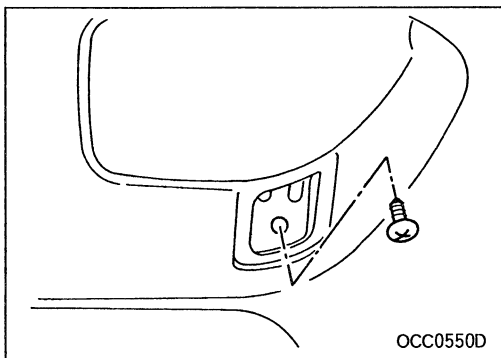


3. 左右の爪をマイナスドライバーで抜き、パワーウィンドースイッチよりエスカッションを取り外す。
4. グリップ部のスクリュー (1本) を外す。

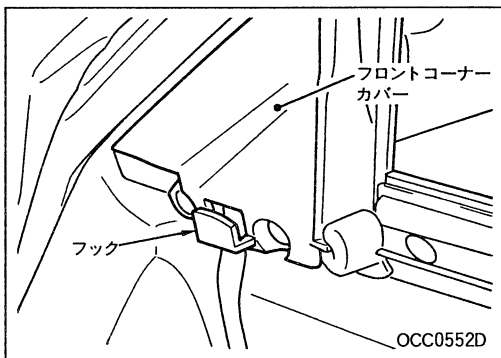


5. ドアグリップ下部のエスカッション切り欠きにマイナスドライバーを差し込みエスカッションを取り外す。

取り外し (続き)



6. ドアグリップ下部のスクリュー (1本) を外す。
7. ドアフィニッシャー下部の取付スクリュー (3本) を外した後、クリップドライバーでクリップ (4箇所) を抜き、助手席ドアフィニッシャーを取り外す。



取り付け

取り付けは、下記作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- クリップ及びクリップ座に破損がある場合は交換又は修理すること。
- ドアフィニッシャー取り付け時、フロントコーナーカバーのフックにフィニッシャーを確実に挟み込むこと。
- ドアフィニッシャーに汚れが付着した場合は、下記要領にて行うこと。

水溶性 : 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってから汚れ部を拭き取る。

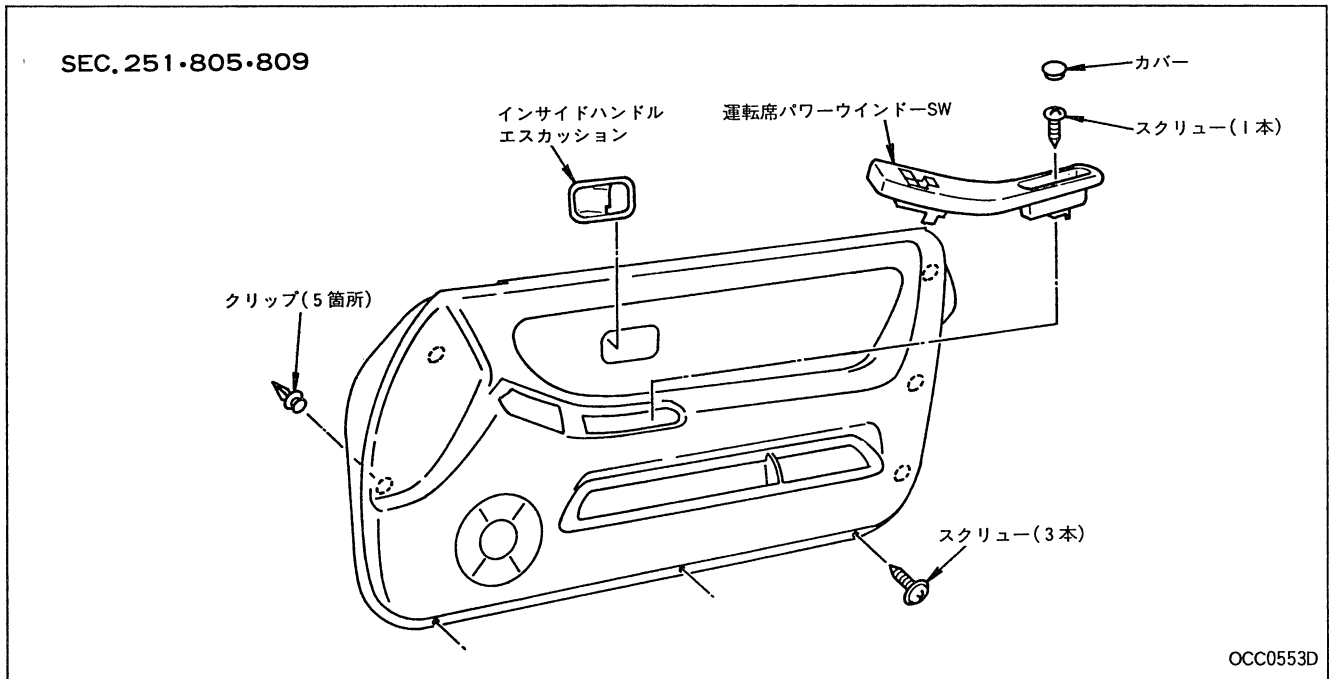
次に柔らかい布で空拭きをする。

油性 : ぬるま湯に中性洗剤 (濃度2~3%以内) を溶かして柔らかい布を浸して汚れを拭き取る。

次に真水に浸した布を固く絞り、洗剤をきれいに拭き取った後、柔らかい布で空拭きをする。

- 中性洗剤の濃度は2~3%以内にする。
- シンナー・ベンジン等の有機溶剤は絶対に使用しないこと。

フロントドアフィニッシャー (2ドアクーペ)



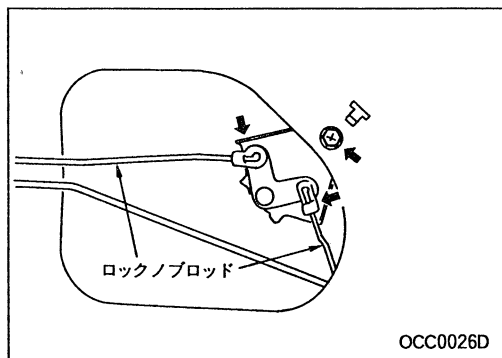
取り外し及び取り付け

取り外し及び取り付け要領は、4ドアセダンに準ずる。

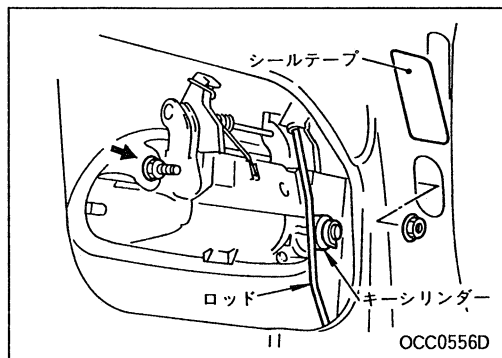
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

フロントドアロック

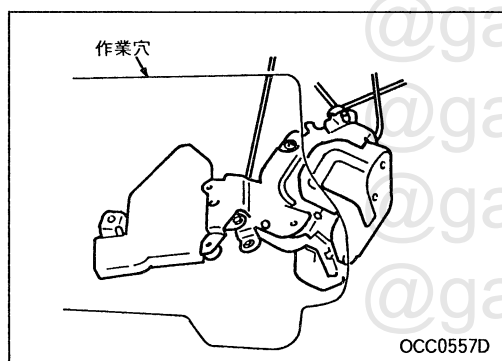
取り外し (続き)



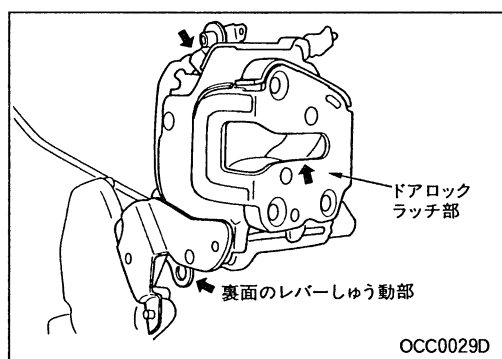
8. ベルクランクのロックノブロッド連結部 (2箇所) を外す。
9. 取付ボルト (1本) を外し、ベルクランクを取り外す。
10. ロアサッシュリヤのガラスランラバーを外す。
11. 取付ボルト (1本) を外し、ロアサッシュリヤを外す。



12. シールテープを外す。
13. 作業穴より手を入れ、キーロッド及びアウトサイドハンドルロッド連結部を外す。
14. 取付ナット (2個) を外し、アウトサイドハンドルを取り外す。
注意 : キーシリンダーと共締めのため先にキーシリンダーを取り外す。

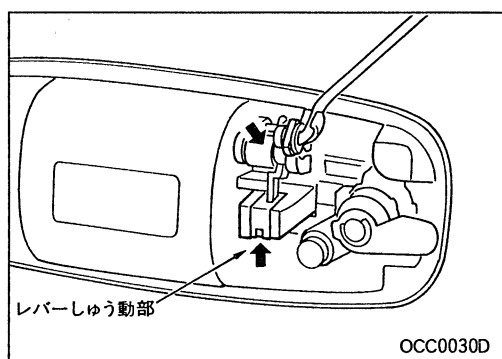


15. ドアロックアクチュエーター取付ボルト (1本) を外す。
16. ドアロックアクチュエーターコネクタを外す。
17. 取付スクリュー (3本) を外し、ドアロックASSYを左図作業穴より取り外す。



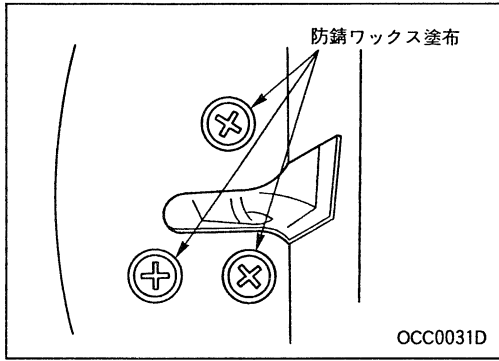
点検

- ドアロックASSYのラッチ及びレバーしゅう動部のグリースが不足している場合は、グリースを塗布すること。



- アウトサイドハンドルのレバーしゅう動部にグリースを塗布すること。
- 各ロッドに折れ、変形のある場合は、新品と交換すること。

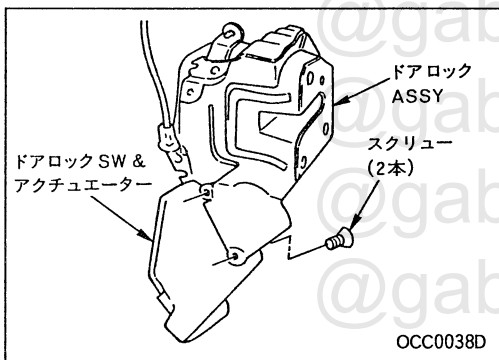
フロントドアロック



取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- ドアロックASSY取り付け時、車体側取付穴座面に防せいワックスを塗布すること。
- 取り付け時、アウトサイドハンドルロッド調整を行いながら各ハンドル操作でロック・アンロックがスムーズに行えるか確認すること。
- ドアロック取付スクリューはネジロック付きのため交換して取り付けのこと。
- 各ロッドはカチットと手ごたえがあるまでロッドホルダーを回転させて取り付ける。

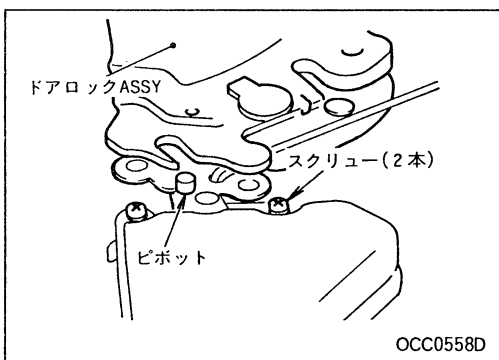


フロントドアロックASSY

分解

1. ドアロックASSYを取り外す。
2. 取付スクリュー (2本) を外してドアロックASSYよりドアロックスイッチ及びアクチュエーターを取り外す。

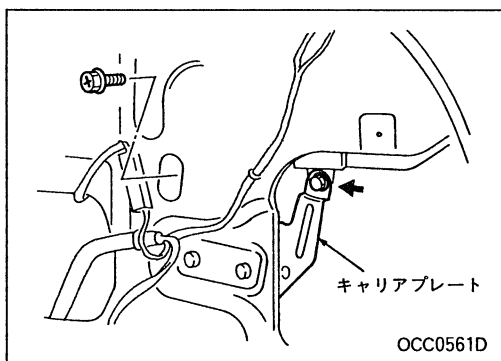
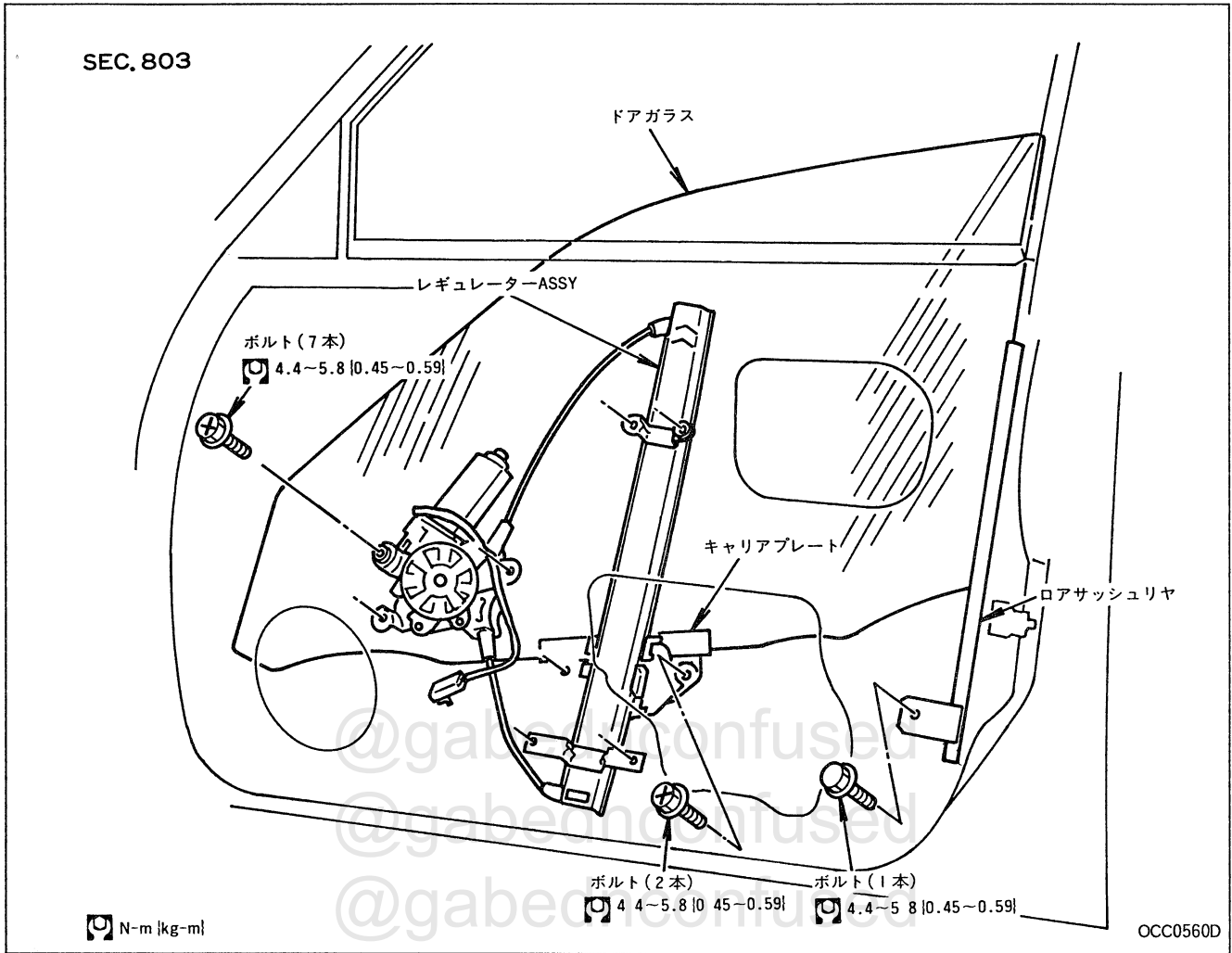
注意： 車載上でのドアロックスイッチ単体脱着は構造上無理なため、必ずドアロックASSYごと取り外す。



組み立て

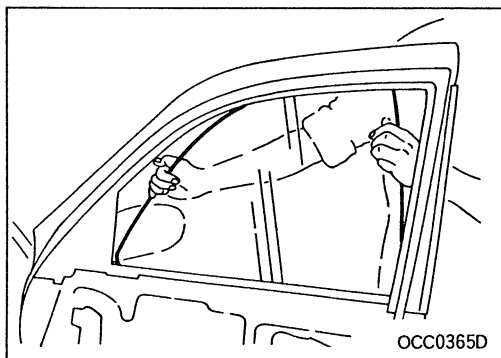
- アクチュエーター又はドアロックスイッチ側のピボットをドアロックASSYの溝に確実にはめ込んで組み付ける。

フロントドアガラス及びレギュレーター (4ドアセダン)



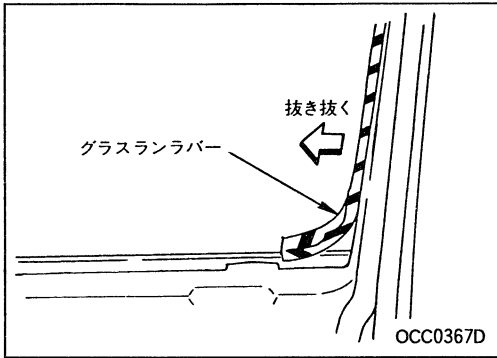
取り外し

1. ドアフィニッシャーを外す。
(「フロントドアフィニッシャー (4ドアセダン) の項参照」)
2. シーリングスクリーンを徐々にはがして取り外す。
3. パワーウインドースイッチコネクターを再接続する。
4. キースイッチをONにしてガラスを全閉にする。
5. ロアサッシュリヤ部のガラスランラバーを外す。
6. 取付ボルト (1本) を外し、ロアサッシュリヤを外す。
7. ドアガラス取付ナットが見える位置まで、ガラスを下げる。
8. ガラスキャリアプレート取付ボルト (2本) を外す。
9. ガラスを持ち、後側を上げながらロアサッシュフロントよりガラスを抜く。
10. 後側を上げた状態にしながらドア外側にガラスを引き抜く。

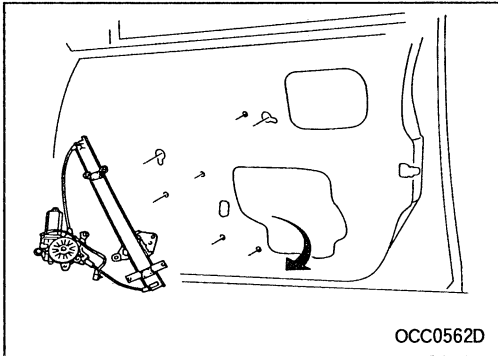


フロントドアガラス及びレギュレーター（4ドアセダン）

取り外し（続き）

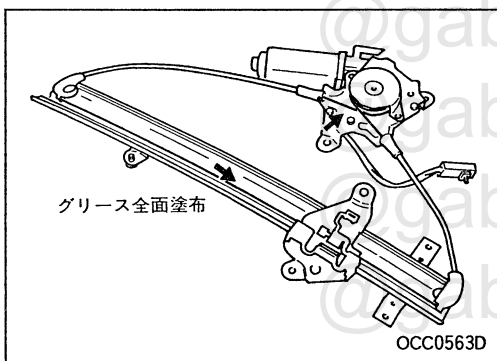


11. グラスランラバーをサッシュより徐々に引き抜いて取り外す。



12. レギュレーターASSYのコネクターを外す。

13. 取付ボルト（7本）を外し、レギュレーターASSYをドア下部作業穴より取り出す。

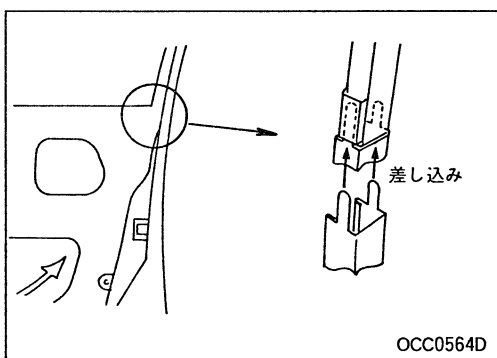


点検

次の項目を点検し、異常があれば、交換又は給油する。

- ワイヤの摩耗状態
- スプリングの損傷
- レギュレーターの変形
- 各しゅう動部の給油状態

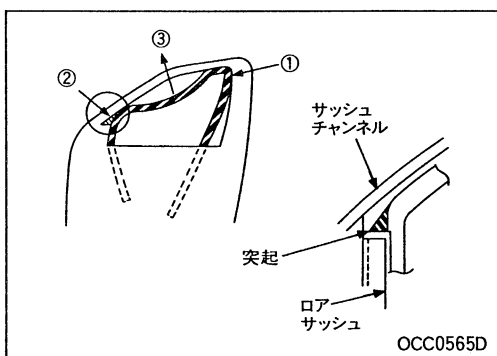
{左図の矢印は日本鉱油「タプレックス#252」相当品（二硫化モリブデン入りグリース）の塗布箇所を示す。}



取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- ガラス取り付けは前端を斜め下にしてドア内に入れ、ロアサッシュフロントにガラスを入れた後、後側をサッシュに合わせて挿入する。
- ロアサッシュリヤの上端をドアサッシュに確実に差し込んで取り付けのこと。
- ガラス取り付け後、ガラスがスムーズに作動するか確認すること。

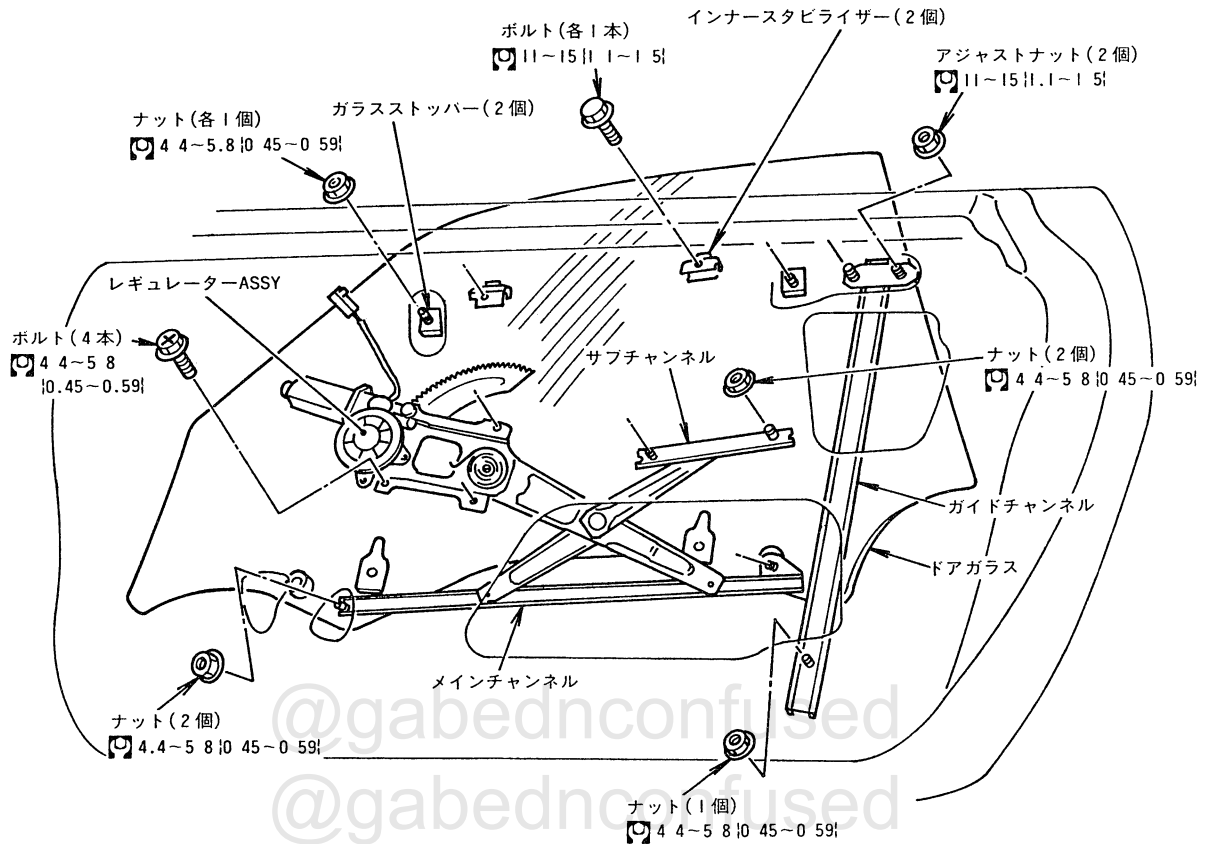


• グラスランラバー取り付けは下記要領にて行う。

- (1) グラスランラバーの取り付けは左図順序にて行う。
- (2) 前端コーナー部の突起をサッシュチャンネルとロアサッシュフロントとの間に入れること。

フロントドアガラス及びレギュレーター (2ドアクーペ)

SEC. 803

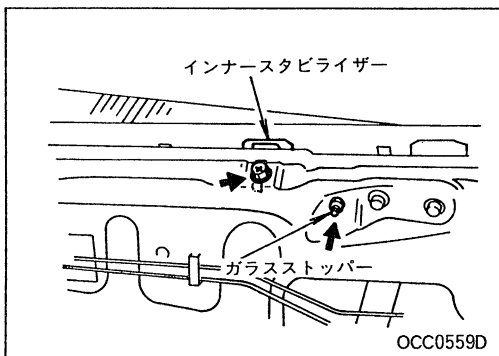


N-m |kg-m|

OCC0566D

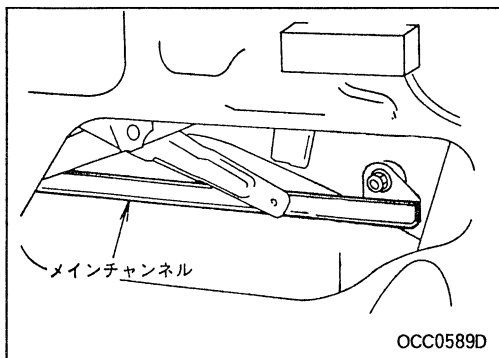
取り外し

1. ドアフィニッシャーを外す。
(「フロントドアフィニッシャー」の項参照)
2. シーリングスクリーンを徐々にはがして取り外す。
3. パワーウインドースイッチコネクターを再接続する。
4. キースイッチをONにしてガラスを全開にする。
5. 取付スクリューを外して、スピーカー及びスピーカーカバーを取り外す。
6. 前後の取付スクリュー (各1本) を外し、アウトサイドモールを外す。(「BE編ドアアウトサイドモール」の項参照)
7. 取付ナット (各1本) を外し、ガラスストッパー (2個) を取り外す。
8. 取付ボルト (各1本) を外し、前後のインナースタビライザーを取り外す。

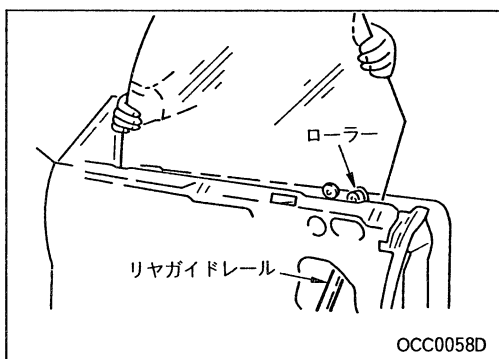


フロントドアガラス及びレギュレーター (2ドアクーペ)

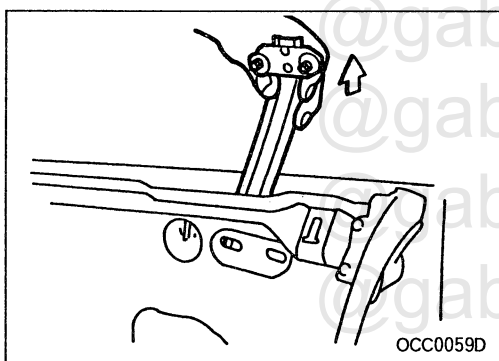
取り外し (続き)



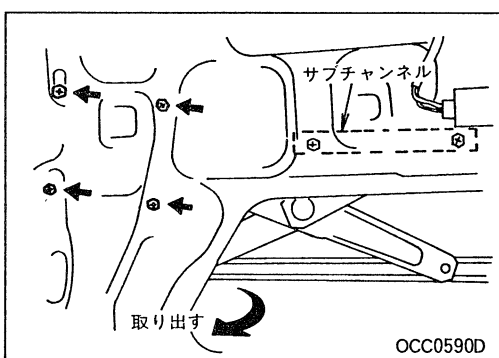
9. メインチャンネル取付ナットが見え、作業できる位置までガラスを上げる。
10. レギュレーターのメインチャンネル取付ナット (2個) を外す。



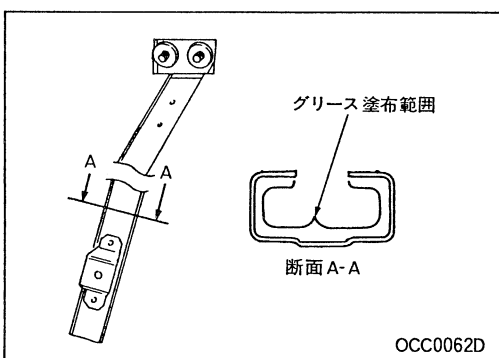
11. ガラス後端を持ち上げながら左図の状態にして、リヤガイドレールよりローラーを抜いてガラスを取り外す。



12. 取付ボルト (1本) 及びアジャストナット (2個) を外してガイドチャンネルを上方に引き抜く。



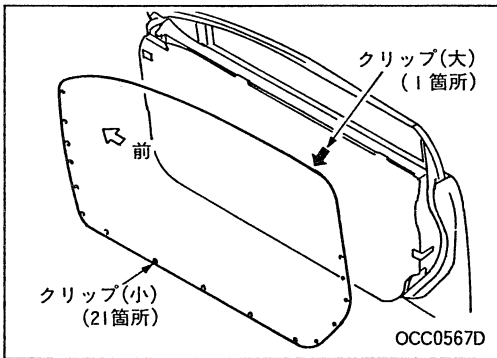
13. レギュレーターのコネクターを外す。
14. レギュレーターのサブチャンネル取付ナット (2個) 及びレギュレーター取付ボルト (4本) を外す。
15. 左図作業穴よりレギュレーターASSYを取り外す。



点検

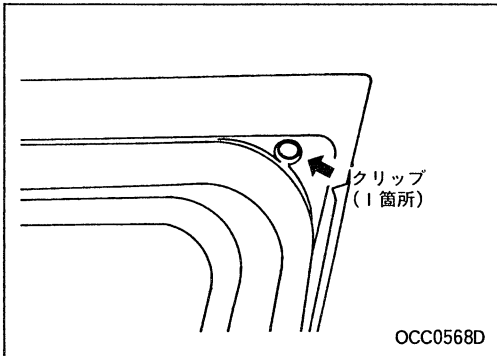
- ガイドチャンネルのガイドローラーしゅう動面及びフロントガイドレールしゅう動面のグリース塗布状況を確認し、不足の場合は日本鉱油製「タブレックス# 252」相当品 (二硫化モリブデン入りグリース) を塗布する。また、グリース内に異物の混入があった場合は、グリースを拭き取った後、再塗布すること。

フロントドアウエザーストリップ (4ドアセダン)



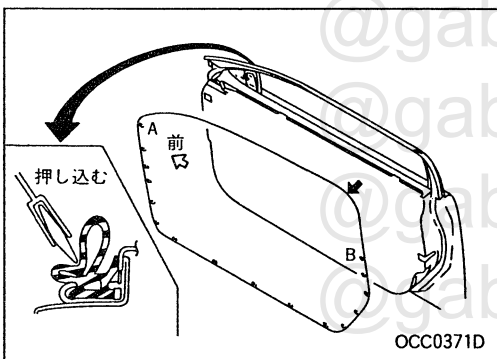
取り外し

1. 左図の箇所のクリップ (小) をクリップドライバーでドアパネル穴より抜く。
2. 前側のサッシュチャンネルよりウエザーストリップを徐々に引き抜いていく。



3. 後側のサッシュコーナー部のクリップ (大) を外してウエザーストリップを取り外す。

注意 : ウエザーストリップ取り外し時、一時外すチェックリンクは仮止めすること。

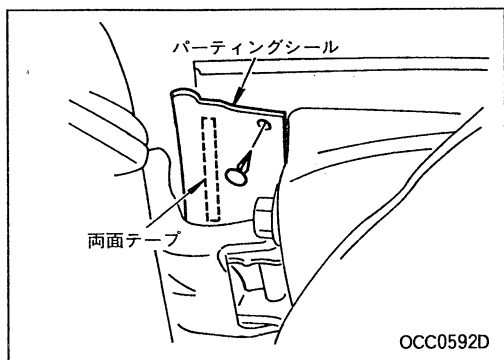


取り付け

1. 左図矢印部をサッシュのコーナー部に合わせる。
2. クリップ (大) をドアパネル穴に確実に取り付ける。
3. 左図A・B部のクリップをドアパネルに取り付ける。
4. サッシュチャンネルにウエザーストリップをはめ込み、固定する。
5. クリップ (21箇所) をドアパネル穴に確実に取り付ける。クリップ取付後、ウエザーストリップを軽く引っ張りクリップの抜けがないことを確認する。

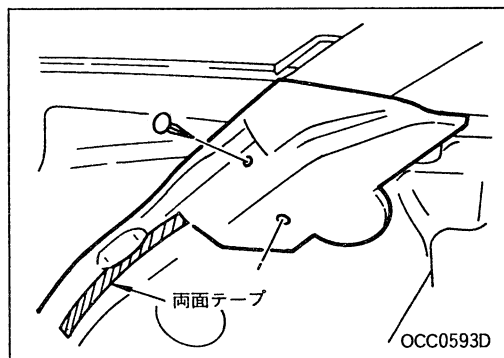
注意 : ウエザーストリップがサッシュチャンネルに入りにくい時は、石けん水を塗布して行う。

フロントドアウエザーストリップ (2ドアクーペ)

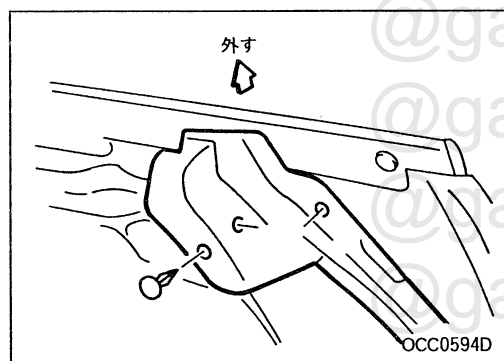


取り外し

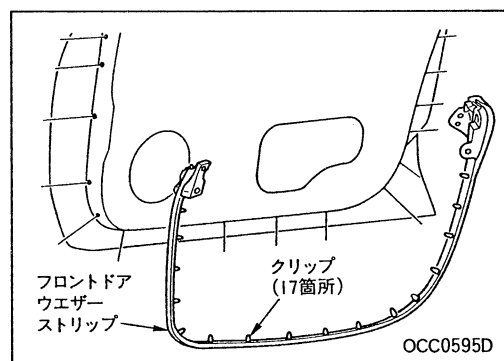
1. ドアフィニッシャーを外す。
(「フロントドアフィニッシャー (2ドアクーペ)」の項参照)
2. パーティングシールは取付クリップ (2箇所) を抜いて取り外す。



3. ウエザーストリップ前端部のクリップ (2箇所) を外す。
注意 : ドアパネルのR部は両面テープ止めになっているので静かにウエザーストリップをはがすこと。



4. 後端部のクリップ (3箇所) を外す。



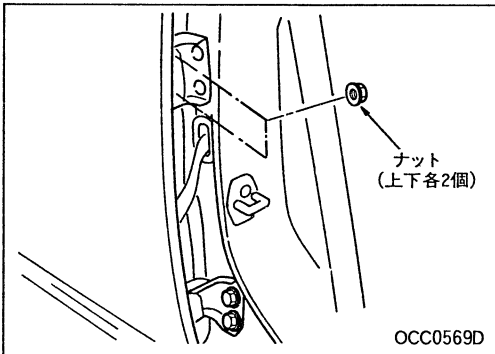
5. 取付クリップ (17箇所) を外し、フロントドアウエザーストリップを取り外す。

取り付け

1. 新しい両面テープをドアR部に貼り付ける。
2. 両面テープの離けい紙をはがす。
3. 前後端部をドアパネルに合わせ、クリップで固定する。
4. クリップ (17箇所) をドアパネル穴に確実に取り付ける。クリップ取り付け後、ウエザーストリップを軽く引っ張りクリップの抜けがないことを確認する。

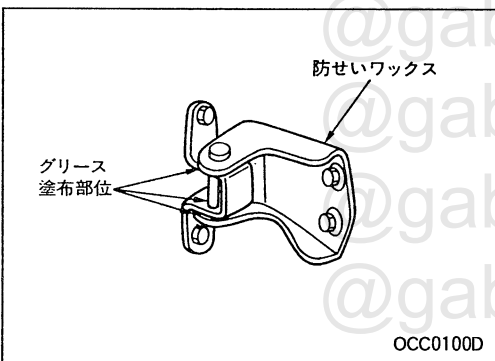
注意

- 脱着時、ドアに傷を付けないようウエスを載せたジャッキなどで支えること。
- チェックリンクは、左右の識別マークを各々上側にしてから取り付けること。
- ヒンジ回転及びチェックリンクピン部には日本鉱油製「タブレックス#252」(二硫化モリブデン入りグリース) 相当品を塗布する。
- ドアヒンジ座面及びチェックリンク回転部に防せいワックス「M-97スーパー (部品番号KA910 89901) 相当品」を塗布する。



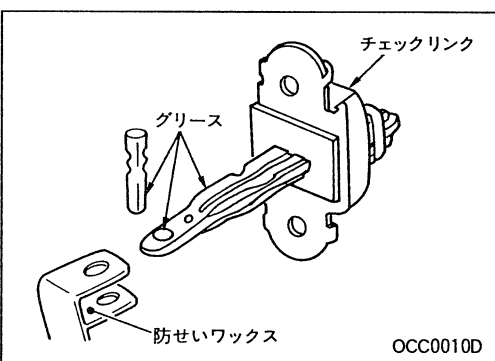
取り外し

1. センターピラーロアフィニッシャーを外す。
(「BI編ボディーサイドトリム及びフロアトリム」の項参照)
2. ドアハーネスのコネクターを外す。
3. グロメット部よりハーネスを引き抜く。
4. チェックリンクピン下側をハンマーで軽くたたいた後、プライヤーでチェックリンクピンを引き抜く。
5. ヒンジ取付ナット (上下各2個) を外して、ドアASSYを取り外す。



点検

- ヒンジは次の項目を点検する。
異音又は開閉が重い …… グリース給油
構成部品の摩耗、損傷 …… 交換
- 左図箇所にグリース及び防せいワックスを塗布する。

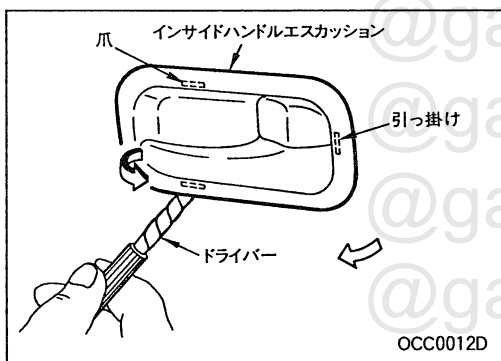
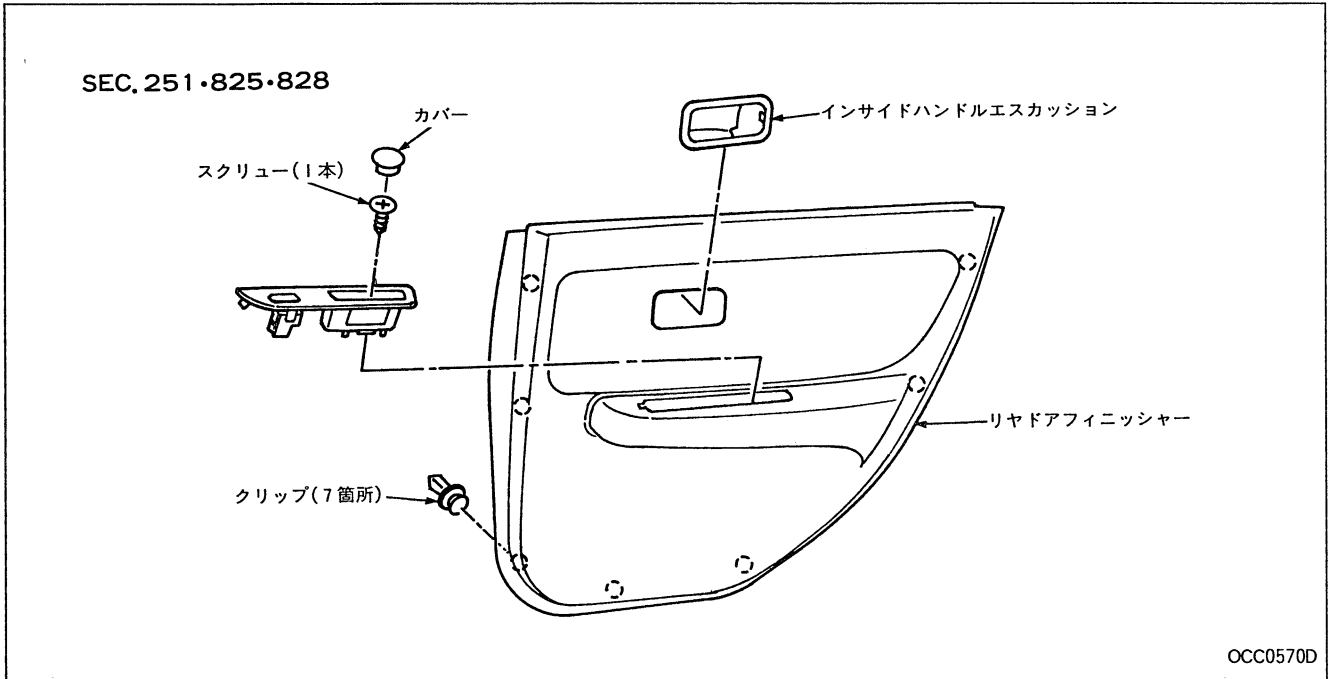


- チェックリンクの異常摩耗及び損傷がある場合は交換する。
- 左図箇所にグリース及び防せいワックスを塗布する。

取り付け

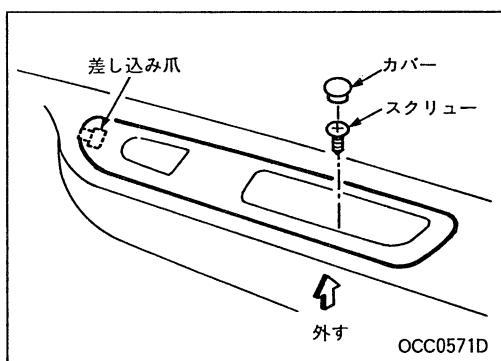
取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- ドアASSY取り付け後は建付調整を行うこと。
(「MA編主な点検調整要領ドア」の項参照)
- チェックリンクにグリースを塗布すること。
- ドアヒンジ取付ボルト及びナットは規定トルクで締め付ける。
取付ボルト締め付トルク (N-m [kg-m]) : 24 ~ 31 {2.5 ~ 3.2}
取付ナット締め付トルク (N-m [kg-m]) : 10 ~ 14 {1.1 ~ 1.5}

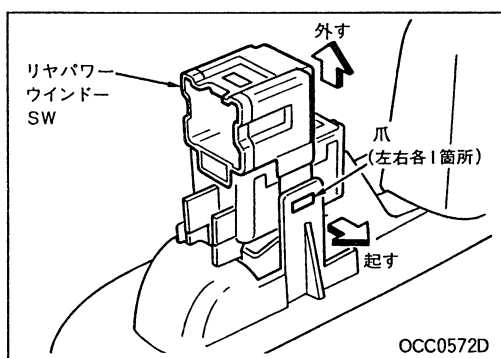


取り外し

1. インサイドハンドルを引しながら左図箇所の爪部（上下各1箇所）に細いドライバーを差し込みエスカッションを手前に引き出すようにして取り外す。



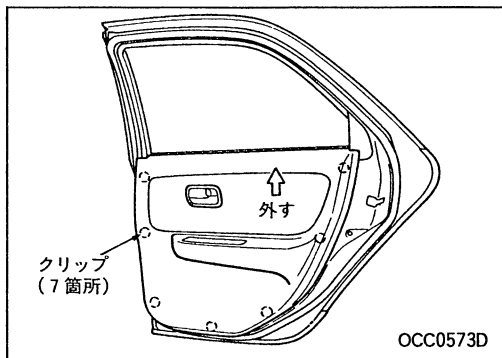
2. 切り欠きにマイナスドライバーを差し、カバーを外した後取付スクリュー（1本）を外す。
3. 後端部を持ち上げながら前端の差し込み爪を抜いて、プルハンドルを取り外す。



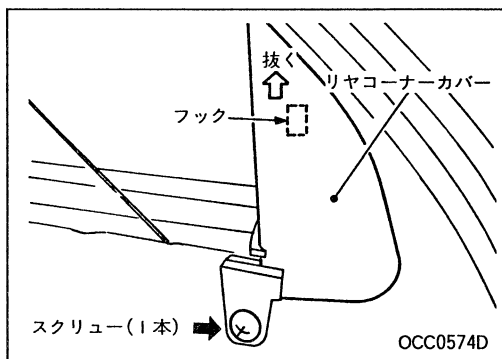
- プルハンドル裏面の爪をマイナスドライバーで起してリヤパワーウインドースイッチを取り外す。

リヤドアフィニッシャー

取り外し (続き)



4. 左図箇所の隠しクリップ (7箇所) をクリップドライバーでドアパネル穴より抜いた後、ドアフィニッシャーを持ち上げドアパネルフランジよりインサイドシールを抜いて取り外す。



5. 後端のスクリュー (1本) を外した後、上部のフックを抜いてリヤコーナーカバーを取り外す。

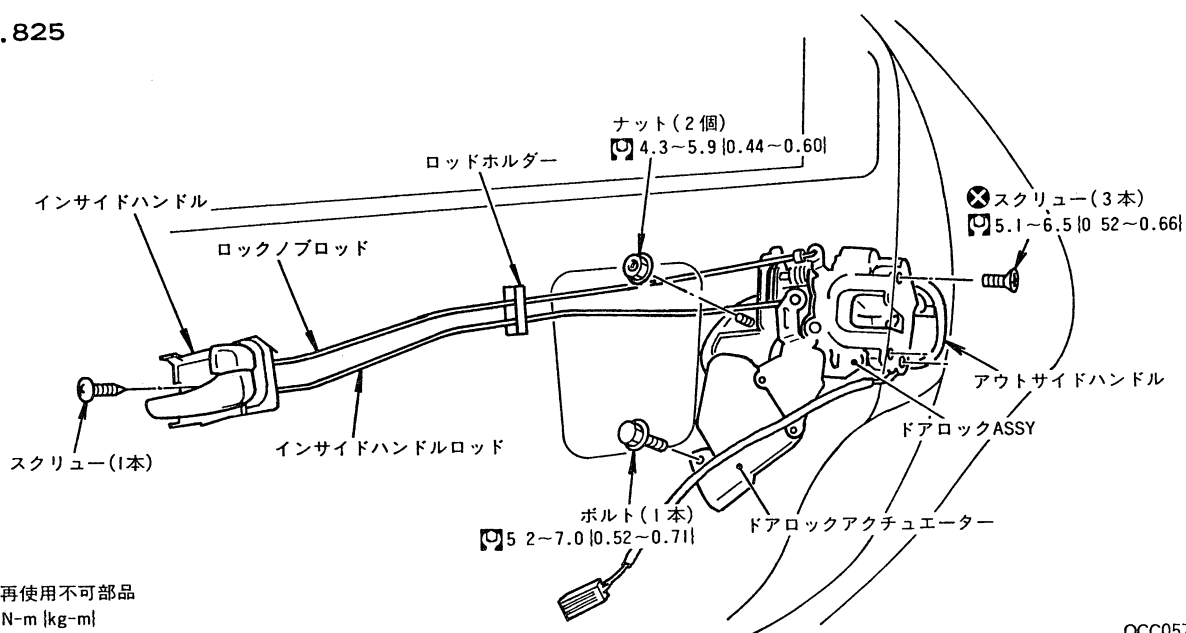
取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- クリップ及びクリップ座に破損がある場合は交換又は修理すること。
- ドアフィニッシャーに傷、シワ、汚れ等を付けないよう注意すること。
- ドアフィニッシャーの汚れ除去については「フロントドアフィニッシャー (4ドアセダン)」の項参照。

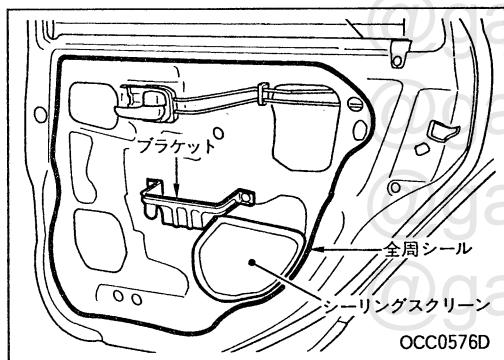
リヤドアロック

SEC. 825



⊗ 再使用不可部品
 □ N·m [kg·m]

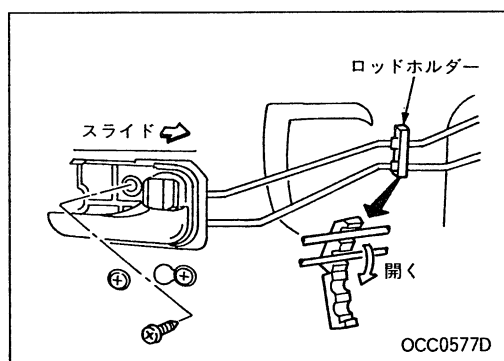
OCC0575D



OCC0576D

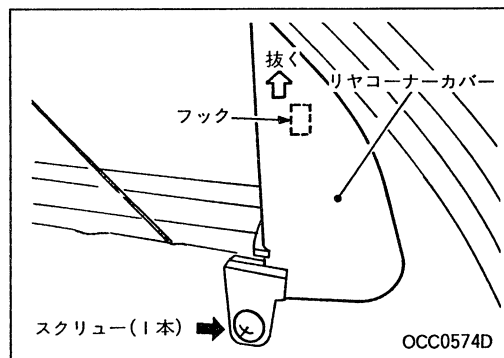
取り外し

1. リヤドアフィニッシャーを外す。
 (「リヤドアフィニッシャー」の項参照)
2. アームレストブラケットを取り外す。
3. シーリングスクリーンを徐々にはがして取り外す。



OCC0577D

4. ロッドホルダーを下側に開く。
5. 取付スクリュー (1本) を外した後、インサイドハンドルを後方にスライドさせドアパネル角穴より取り外す。

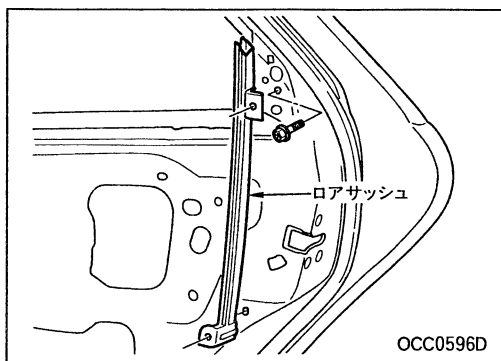


OCC0574D

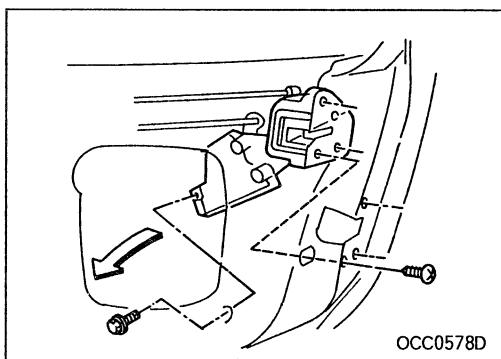
6. 後端のスクリュー (1本) を外した後、上部のフックを抜いてリヤコーナーカバーを取り外す。

リヤドアロック

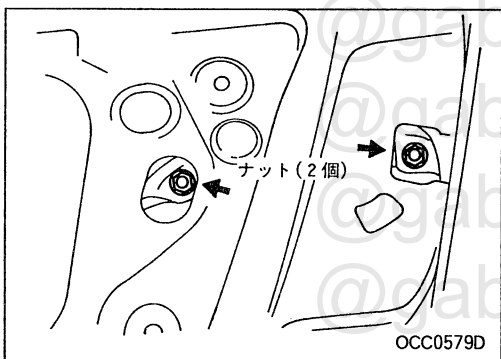
取り外し (続き)



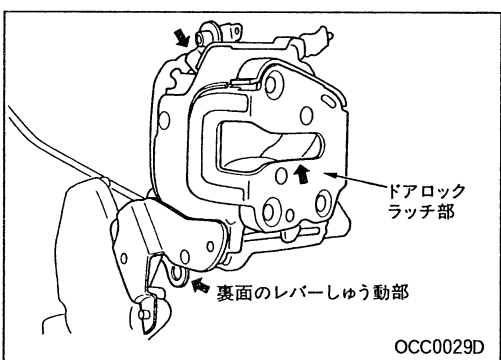
7. グラスランラバーを外す。(ロアサッシュ部のみ)
8. 取付ボルト (2本) を外し、リヤロアサッシュを取り外す。



9. 取付スクリー (3本) 及びドアロックアクチュエーター取付ボルト (1本) を外し、ロッドと一体でドアロックASSYを取り外す。

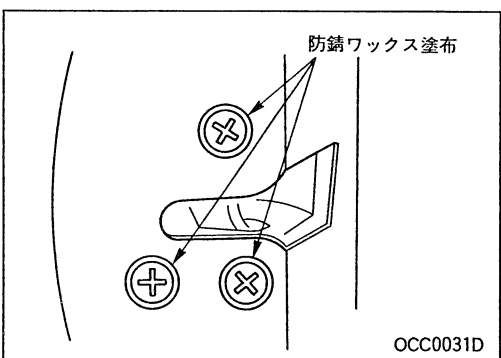


10. 取付ナット (2個) を外して、アウトサイドハンドルを取り外す。



点検

- ドアロックASSYのラッチ及びレバーしゅう動部のグリースが不足している場合は、グリースを塗布すること。
- アウトサイドハンドルのレバーしゅう動部のグリースが不足している場合は、グリースを塗布すること。
- ロッドに変形がある場合は、新品と交換すること。



取り付け

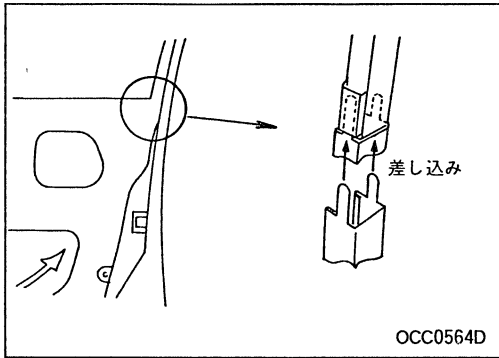
取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- ドアロック取付スクリーアのドア側取付穴座面に防せいワックスを塗布する。
- ドアロック取付スクリーアは、ネジロック剤を塗布してあるため交換して取り付けのこと。

リヤドアロック

取り付け (続き)

- ロアサッシュリヤの上端をドアサッシュに確実に差し込んで取り付けのこと。
- ロアサッシュ取り付け後、ガラスがスムーズに作動するか確認すること。

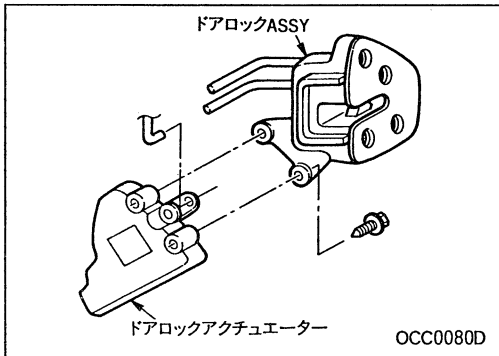


リヤドアロックASSY

分解

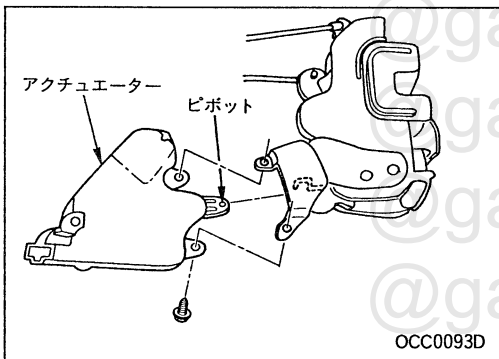
1. ドアロックASSYを取り外す。
2. 取付スクリュー (2本) を外して、ドアロックASSYよりドアロックアクチュエーターを取り外す。

注意 : 車載上でのドアロックアクチュエーター単体脱着は、構造上無理なため、必ずドアロックASSYで取り外すこと。

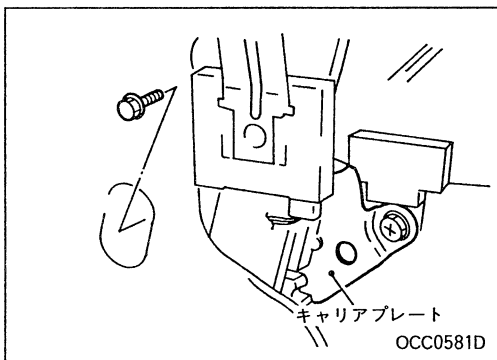
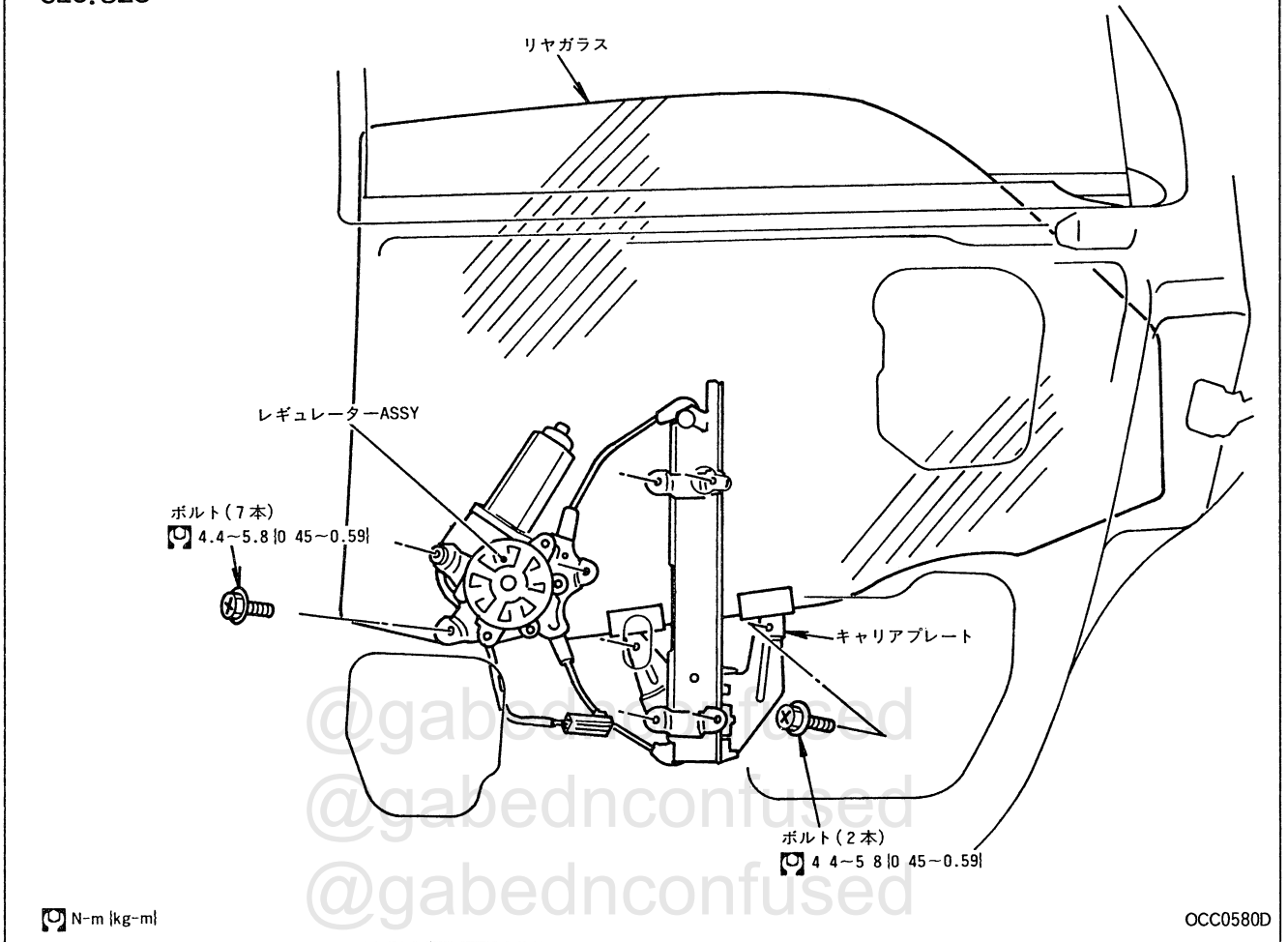


組み立て

- アクチュエーターのピボット部をリヤドアロックに確実に合わせて取り付け。

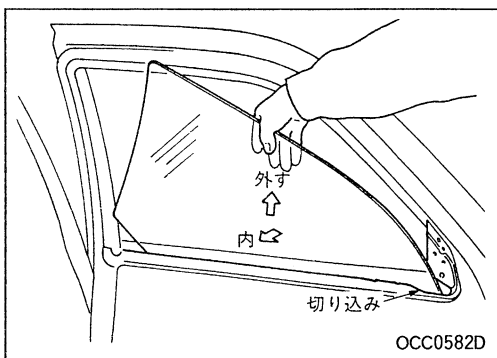


SEC. 823



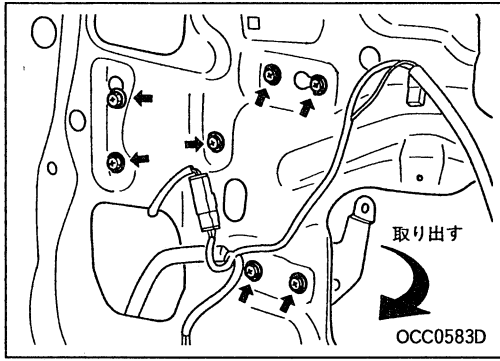
取り外し

1. リヤドアフィニッシャーを外す。
(「リヤドアフィニッシャー」の項参照)
2. シーリングスクリーンを徐々にはがして取り外す。
3. パワーウインドースイッチコネクターを再接続しガラスを全閉にする。
4. ロアサッシュリヤを外す。(「リヤドアロック」の項参照)
5. キースイッチをONにしてガラスをキャリアプレートに見える位置まで下げる。
6. ガラス取付ボルト (2本) を外す。
7. ガラスを左図状態にし、リヤコーナー部のパネル切り込みに入れながら、内側にガラスを引き出す。



取り外し (続き)

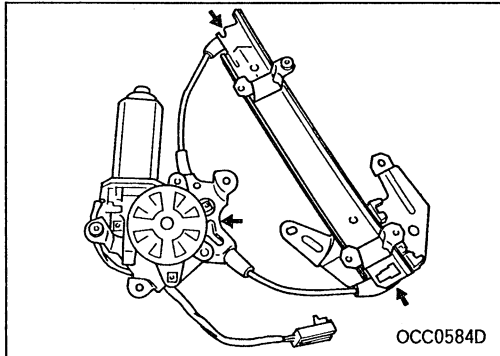
8. 取付ボルト (7本) を外した後、レギュレーターASSYを左図作業
穴より取り外す。



点検

- レギュレーターは次の項目を点検し、異常があれば、交換又は給油する。
- ワイヤの摩耗状態
- スプリングの損傷
- レギュレーターの変形
- 各しゅう動部の給油状態

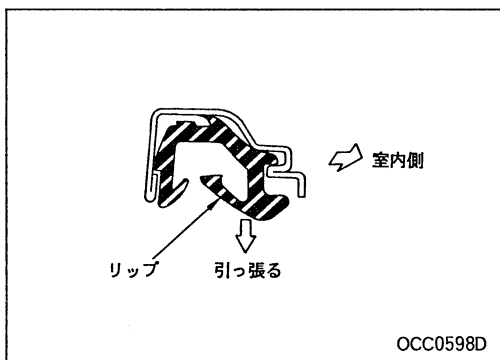
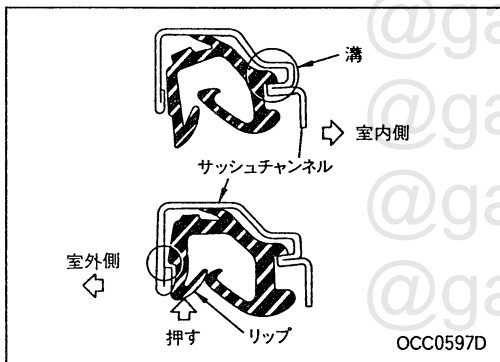
{左図の矢印は日本鉱油「ダブルックス#252」相当品 (二硫化モリブデン入りグリース) の塗布箇所を示す。}



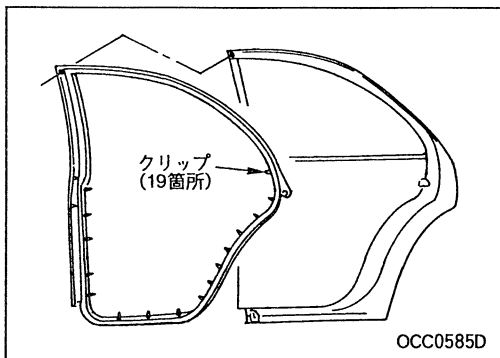
取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- ガラス取り付けは、前側をやや下向きにして、ドア内に入れフロントロアサッシュにガラスを差し込んだ後、後側を入れる。
- ガラス取付後、ガラスがスムーズに作動するか確認すること。
- ガラスランラバーは左図順序で取り付ける。
- 前側のドアパネル内のガラスランラバー取り付けは、室内側の突起をサッシュチャンネル溝に引っ掛けた後、室外側リップを押しサッシュチャンネルに引っ掛ける。
- ガラスランラバー取り付け後、ドアパネル内の室内側リップを引っ張りサッシュチャンネルからガラスランラバーが外れないことを確認すること。

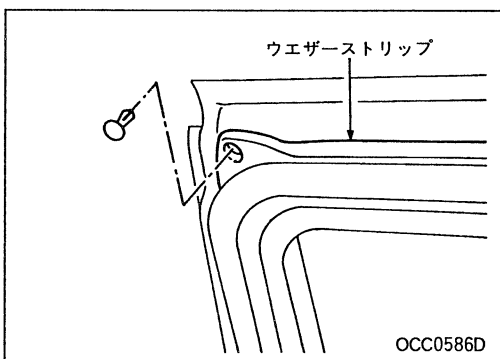


リヤドアウエザーストリップ

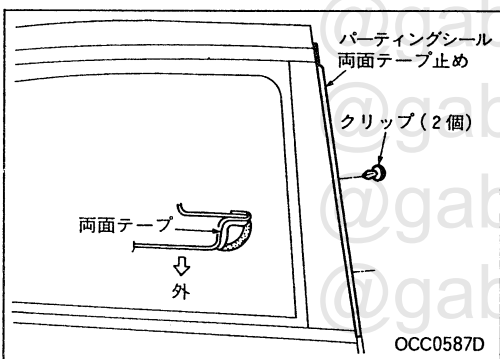


取り外し

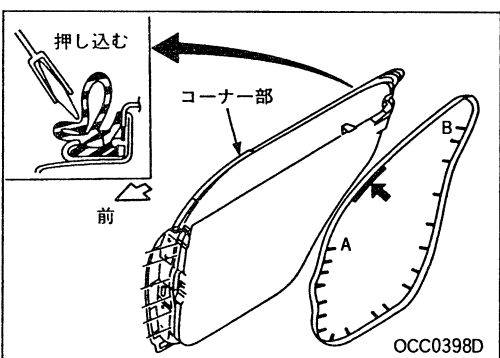
1. 左図箇所のクリップをクリップドライバーでドアパネル穴より抜く。
2. 後部のサッシュチャンネルよりウエザーストリップを徐々に引き抜いていく。
3. チェックリンクカバー及びチェックリンクピンを抜く。



4. 前側のサッシュコーナー部のクリップを外して、ウエザーストリップを外す。



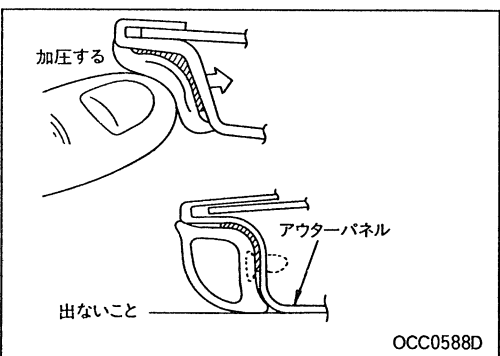
5. 取付クリップ (2箇所) を外した後、ドライヤーで温めながらパーティングシールフロントを取り外す。



取り付け

1. 左図矢印部をサッシュのコーナー部に合わせてクリップで止める。
2. 左図A・B部のクリップをドアパネルに取り付ける。
3. サッシュチャンネルにウエザーストリップをはめ込み、クリップ (19箇所) をドアパネル穴に確実に取り付ける。
4. 取り付け後、ウエザーストリップを押しつけ確実に接着する。

注意：ウエザーストリップがサッシュチャンネルに入りにくい時は、石けん水を塗布して行う。



5. パーティングシールから古い両面テープをはがして、新しい両面テープ (住友3M#5332厚さ0.8mm幅8mm相当品) を貼り付ける。

注意：両面テープを貼り付ける前に、取付面をホワイトガソリンで清掃しておくこと。

6. 両面テープの離けい紙をはがして、上部よりクリップ穴に合わせてクリップをドアパネルに取り付ける。
7. 上部より両面テープ部を指で加圧して取り付ける。

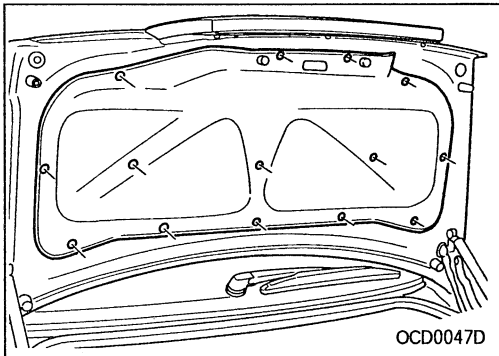
トランクリッド

注意

- トランクリッド脱着は2人作業で行うこと。
- トランクリッド取り外し時、リヤウインドーとの間にウエス等を入れ傷付き防止をすること。
- ガスステー取り外し時は、トランクリッドとトランクフロア間に支持材を入れ、落下防止をすること。

取り外し

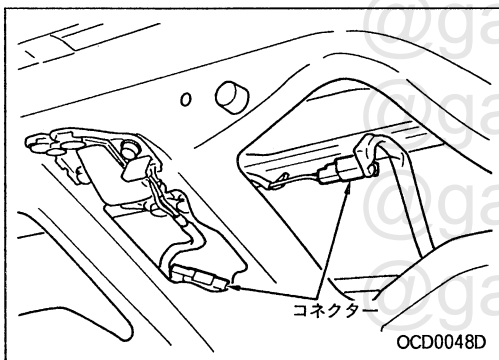
1. 取付クリップ（14箇所）を外し、トランクリッドフィニッシャーを取り外す。(寒冷地仕様車)



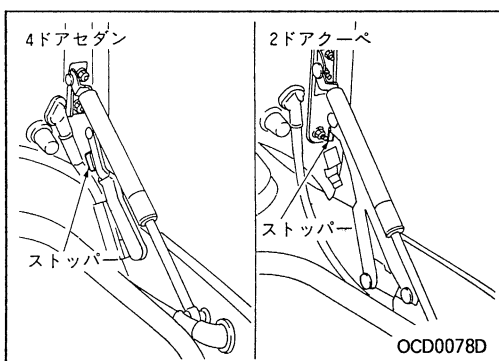
2. ハイマウントストップランプ用ハーネスコネクター（2箇所）を外す。

- グロメットをリッド穴より抜きハーネスを引き抜く。

注意：ハーネスコネクター部に再引き込み用のひもを結び付けてハーネスを引く抜くこと。

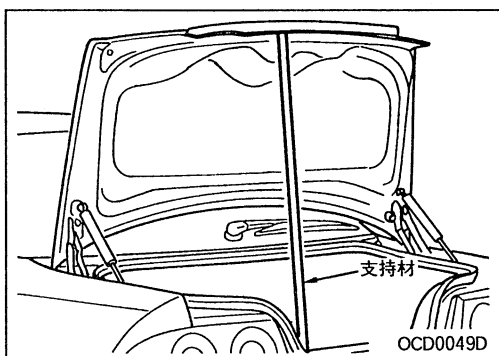


3. ヒンジストッパー（4ドアセダン：ゴム製、2ドアクーペ：樹脂製）を左右取り外す。この際2ドアクーペのヒンジストッパーはマイナスドライバー又は、クリップドライバーにて取り外す。



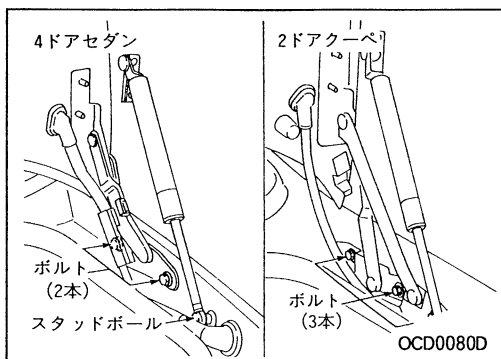
4. 支持材を当てた後、左右のガスステーのトランクリッド側取付ナット（各2個）を外す。

注意：ガスステー取り外し時、支持材が確実に取り付けられているか確認すること。2人作業にて、1人はトランクリッドを支えていること。



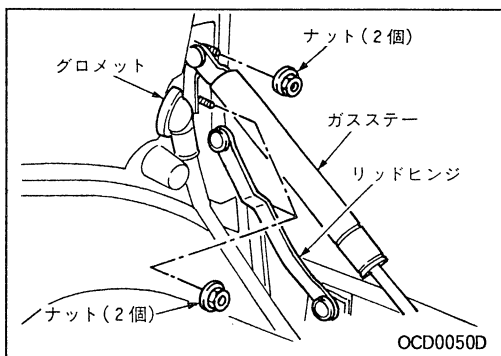
トランクリッド

取り外し (続き)



5. トランクリッドを開方向へ押しながら左右のガスステー（ブラケット）を引き抜く。

注意：2人作業にて行うこと。

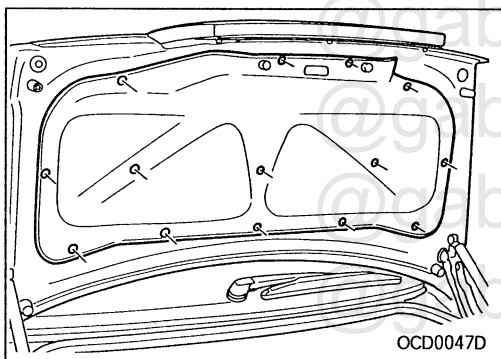


6. 左右のリッドヒンジ取付ナット（各2個）を外し、トランクリッドを取り外す。

注意：2人作業にて行うこと。

7. ガスステー及びヒンジを車体側から取り外す場合は、4ドアセダンの場合、車体側のガスステーのスタッドボールを外して、ヒンジのボルト（2本）を外す。

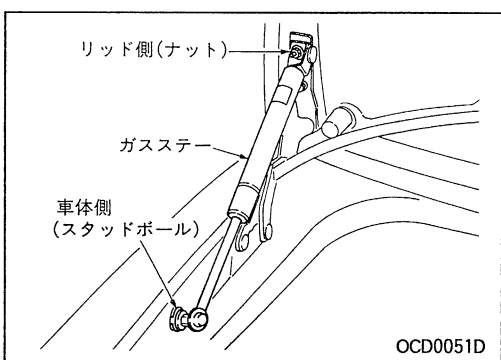
2ドアクーペの場合、ガスステーはヒンジからは外れないので、ヒンジに付けたままボルト（3本）を外す。



取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

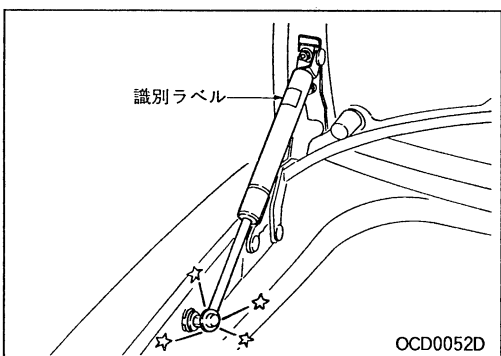
- トランクリッド取り付け後は建付調整を行うこと。
（「MA編主な点検調整要領トランクリッド」の項参照）
- トランクリッドフィニッシャーは左図箇所よりクリップを止めること。
- トランクリッドとヒンジの合わせ部に防せいワックスを塗布すること。



- ガスステーを再使用する場合は、車体側を先に取り付け後、トランクリッド側を取り付け規定トルクでナットを締め付ける。

締め付トルク (N·m [kg·m]) : 13 ~ 16 {1.3 ~ 1.6}

- ヒンジストッパーをヒンジに取り付ける。



- 新しいガスステー取り付けは、4ドアセダンは車体側を取り付けた後、トランクリッド側を取り付ける。

2ドアクーペは、車体側ヒンジにガスステーを取り付け後、トランクリッド側を取り付ける。

注意：ガスステーの識別マーク色を確認して取り付けること。

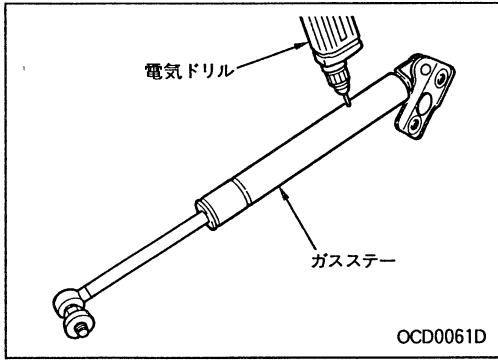
リヤスポイラー無車：青色（4ドアセダンのみ）

リヤスポイラー付車：緑色（4ドアセダン）

：白色（2ドアクーペ）

トランクリッド

取り付け (続き)

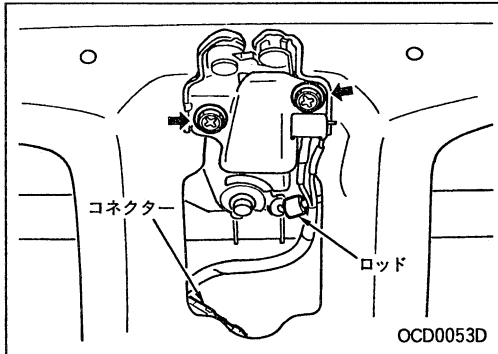


- ガスステー交換時には不要となったガスステー上部に電気ドリルで穴を開け、ガス抜きを行ってから廃却すること。
- 交換時は左右の識別マークを確認すること。

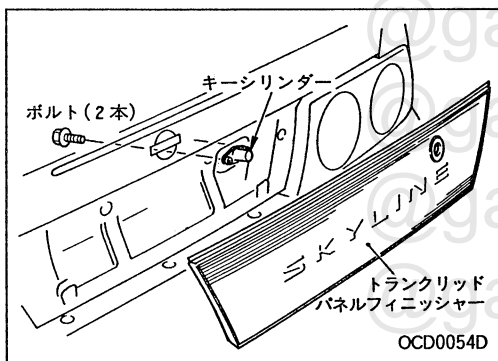
注意：ガス抜きを行ってもガスが残っている場合があるので絶対に火中にガスステーを投げないこと。

トランクリッドロック

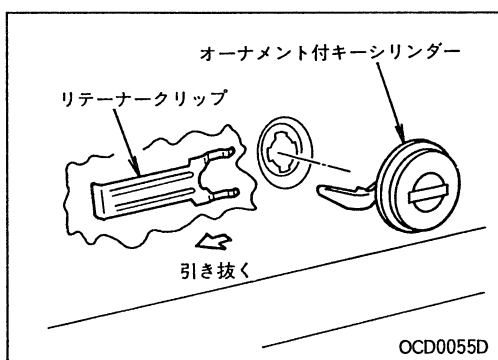
取り外し



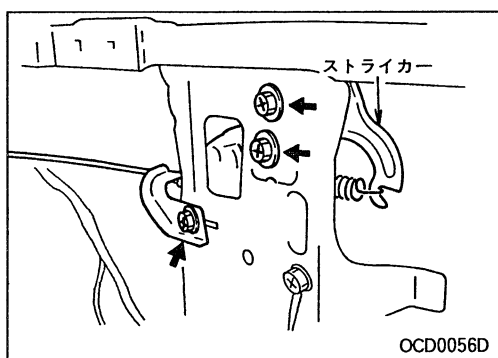
1. トランクリッドフィニッシャーを外す。
(「トランクリッド取り外し」の項参照)(寒冷地仕様車)
2. トランクリッドロックのコネクタ及びロッドを外す。
3. 取付ボルト (2本) を外し、トランクリッドロックを取り外す。



4. トランクリッドパネルフィニッシャーを外す。(「BE編トランクリッドパネルフィニッシャー (4ドアセダン)」の項参照)
5. 取付ボルト (2本) を外し、キーシリンダーを取り外す。(4ドアセダン)

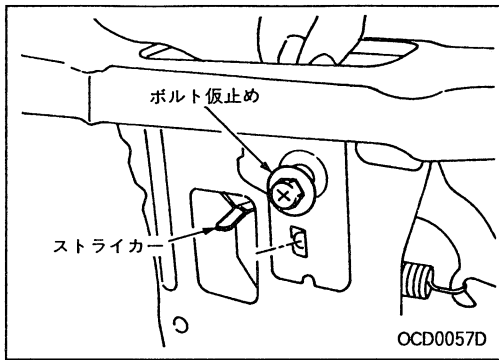


- リテーナークリップを抜き、オーナメント付キーシリンダーを外す。(2ドアクーペ)



6. トランクリヤアッパーガーニッシュ及びトランクリヤフィニッシャーを外す。(「BI編トランクリム」の項参照)
7. 取付ボルト (3本) を外し、トランクリッドストライカーを取り外す。

トランクリッド

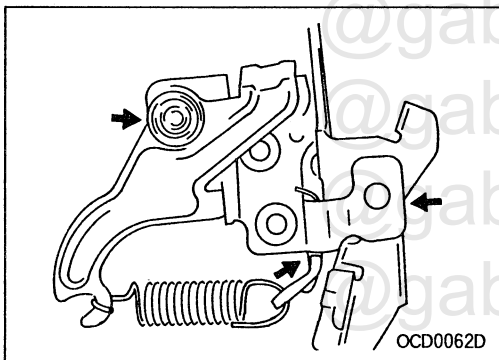


取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

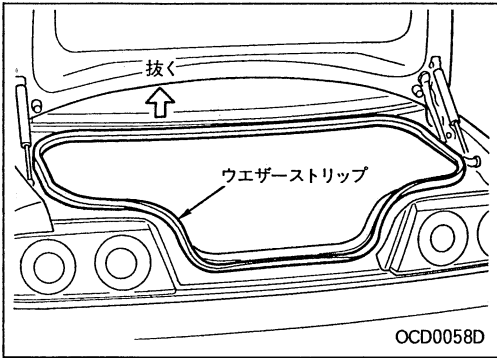
- ケーブルをストライカーに取り付け後、アクチュエーター取付穴より差し入れ、ストライカーを持ち上げボルトで仮止めする。
- 取り付け後、トランクリッドを軽く閉じロック調整及び面差調整を行うこと。
(「MA編主な点検調整要領トランクリッド」の項参照)
- アクチュエーター取り付け後、作動確認を行うこと。
- 調整後、ロック及びストライカー取付ボルトを規定トルクで本締めする。

締めトルク (N-m {kg-m}) : 5.1 ~ 6.5 {0.52 ~ 0.66}



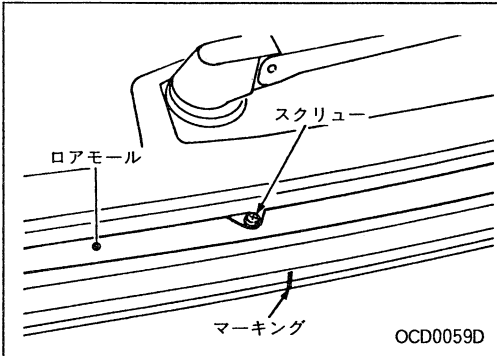
- ストライカー裏面のグリースを点検し不足している場合は左図矢印部に給油すること。

トランクリッドウエザーストリップ



取り外し

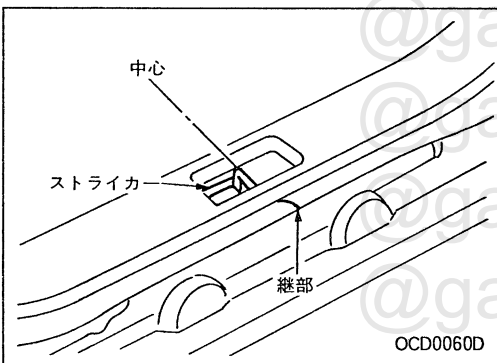
1. トランクリッドを開く。
2. コーナー部よりウエザーストリップを徐々に持ち上げて取り外す。



取り付け

取り付けは、下記の作業に注意して取り外しの逆の手順で行う。

- 前側はウインドシールドロアモールの取付スクリュー（車体中心）にウエザーストリップマーキングを合わせて取り付ける。

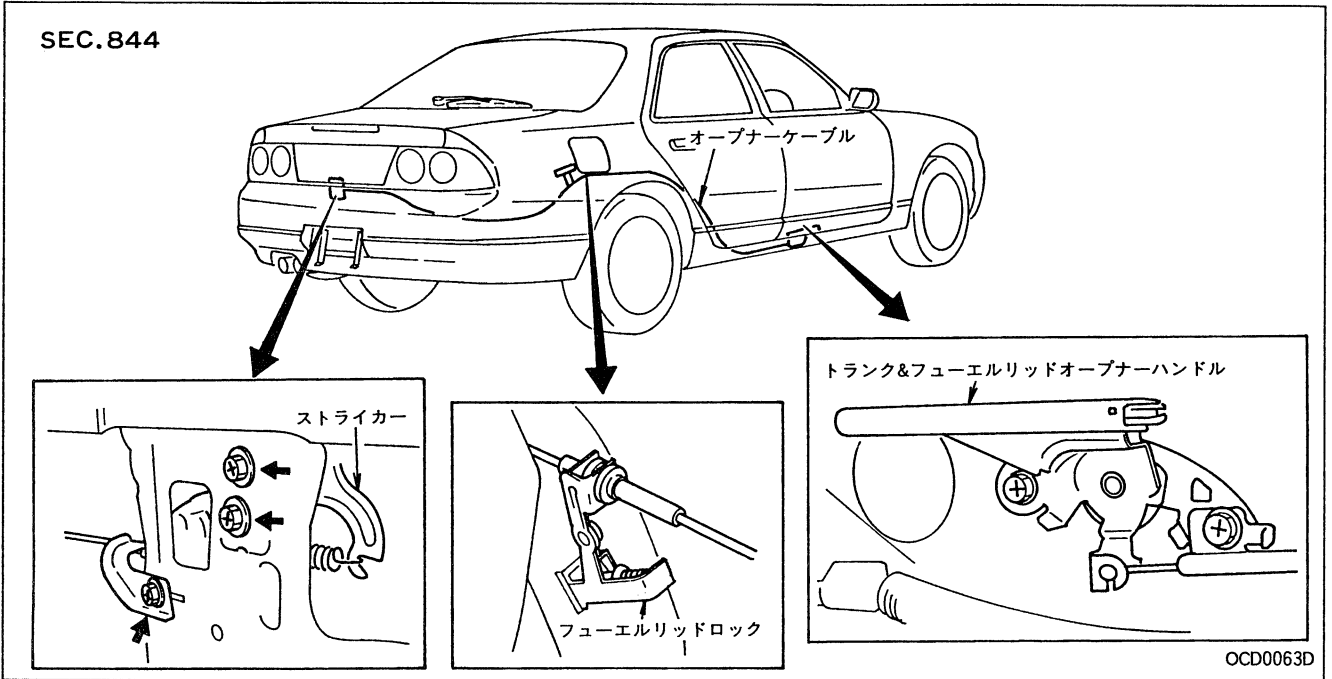


- 後側はストライカー中心にウエザーストリップ継部を合わせて取り付ける。
- 取り付け後、ウエザーストリップを軽く引っ張って浮きのないことを確認する。

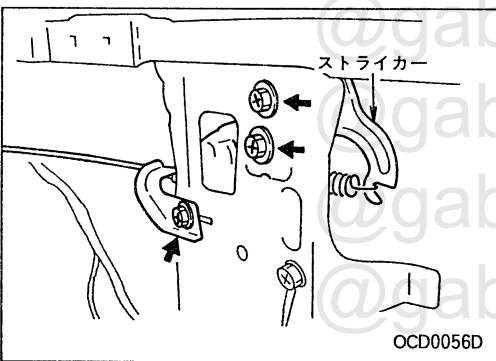
注意：各コーナー部及びリヤアッパーガーニッシュ部は確実に密着させること。

トランク及びフューエルリッドオープナー

SEC.844



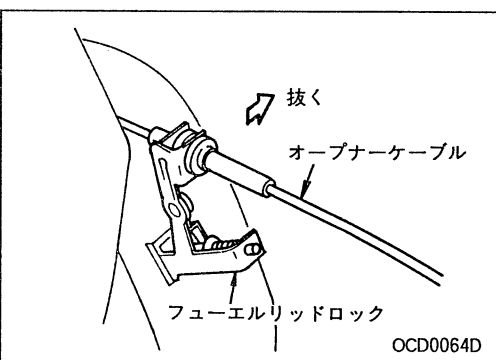
OCD0063D



OCD0056D

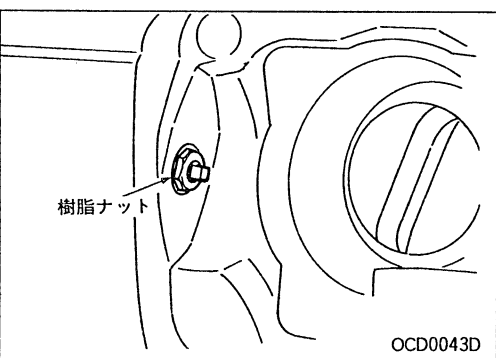
取り外し

1. トランクリヤアッパーガーニッシュ及びリヤフィニッシャーを外す。(「BI編トランクトリム」の項参照)
2. 取付ボルト (3本) を外し、トランクリッドストライカーを外す。



OCD0064D

3. フューエルフィルターリッドを開ける。
4. トランクルーム内のフューエルリッドロック部のオープナーケーブルを外す。

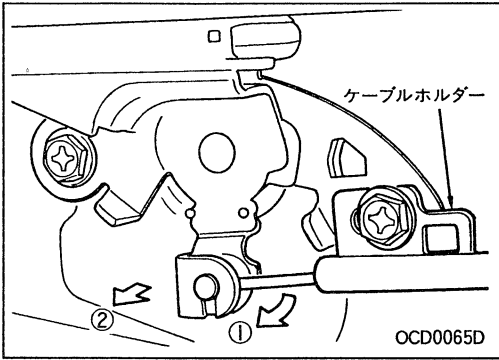


OCD0043D

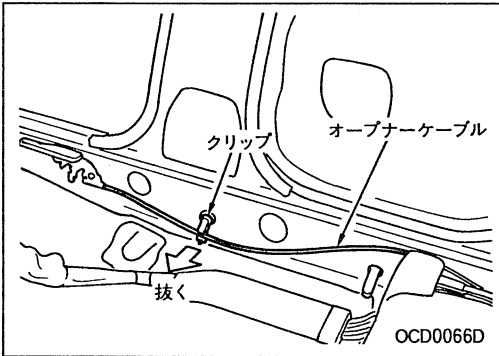
5. フューエルフィルターリッド部の樹脂ナットを外し、フューエルリッドロックをトランク内に外す。

トランク及びフューエルリッドオープナー

取り外し (続き)

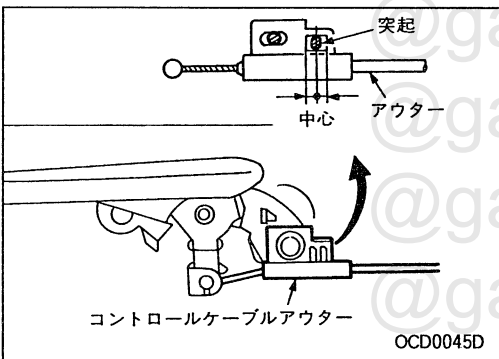


6. リヤシートを外す。〔BI編リヤシート〕の項参照)
7. センターピラーガーニッシュ及びキッキングプレートを外す。
〔BI編ボディーサイドトリム及びフロアトリム〕の項参照)
8. オープナーハンドル部のケーブルホルダー取付ボルト (1本) を外し、オープナーケーブルを抜く。



9. オープナーケーブル取付クリップ (4箇所) よりオープナーケーブルを外し、室内側にオープナーケーブルを引き抜く。

- 注意：
- 引き抜くとき、車体穴でオープナーケーブルアウターに傷 (皮ムケ) などを付けないよう注意して行うこと。
 - オープナーケーブルを極端に曲げないように注意すること。

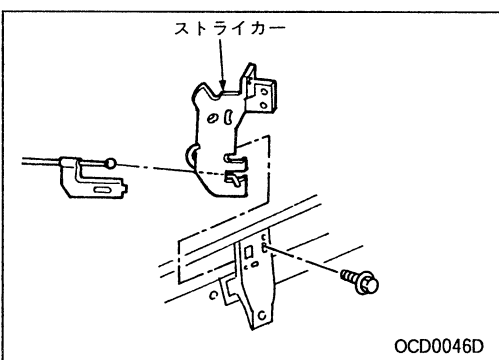


取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- オープナーハンドルにケーブルを組み付け後、取付ボルト (2本) でオープナーハンドルを車体に取り付ける。

- 注意：
- オープナーハンドルの突起がコントロールケーブルアウターの長穴中心になるように取り付けること。



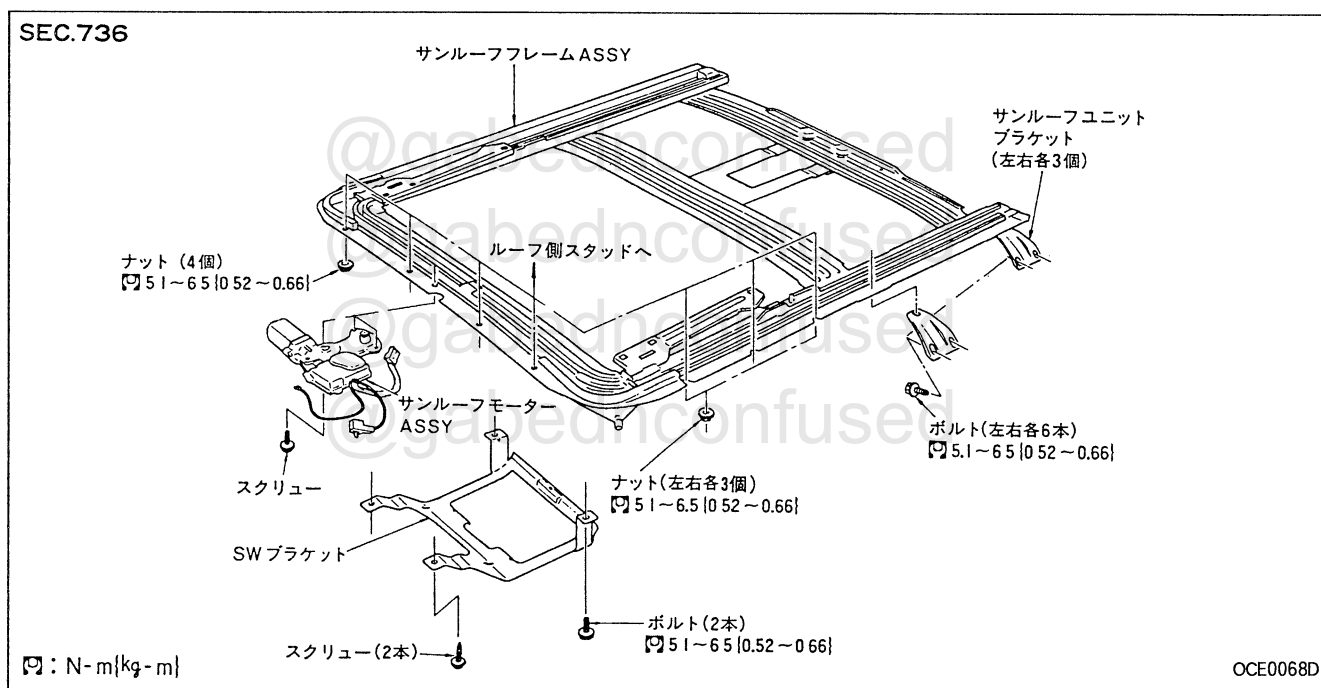
- ケーブルをストライカーに取り付け後、ストライカーを持ち上げボルトで仮止めする。
- オープナーケーブルは極力曲げR (R100mm以上) を大きくして引き込むこと。
- ロックへのケーブル取り付けは確実にすること。
- 取り付け後オープナーハンドルの作動確認及びトランクリッドの面差調整を行うこと。
(〔主な点検調整要領トランクリッド〕の項参照)

サンルーフ

注意

- 車載上でガラスリッド及びフレームASSYを取り外すときは、2人作業で行うこと。
- ヘッドライニング脱着時表面にグリース及び汚れを付着させないこと。
- ヘッドライニング脱着時はフロントシートを取り外すこと。
- インストルメント及びセンターコンソールは古い毛布又はシーツ等大きめのウエス等を掛け部品落下による傷つき防止を行うこと。
- サンルーフユニット及びヘッドライニングを車外に出すときは、助手席側より取り出すこと。また、取り出し時は、センターピラー及びドア開口部周辺はウエス等で保護し、傷つき防止を行うこと。
- サンルーフユニット及びガラスリッド取り付け後、必ず水漏れ試験を行い、異常がないことを確認すること。

サンルーフユニット

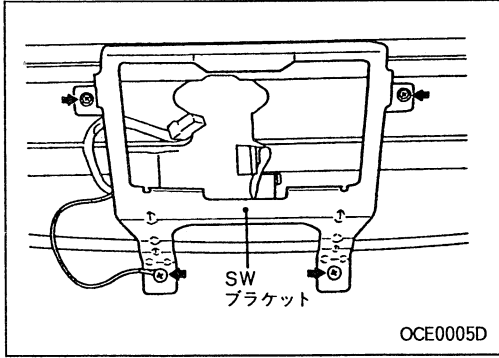


取り外し

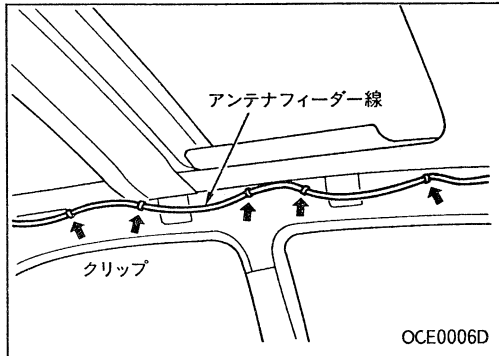
1. ガラスリッドを外す。〔リッドASSY〕の項参照)
2. 室内トリム及びヘッドライニングを外す。〔BI編ヘッドライニング〕の項参照)
3. ドレインホースをフレームASSYより外す。
4. モーターASSYのコネクターを外す。

サンルーフ

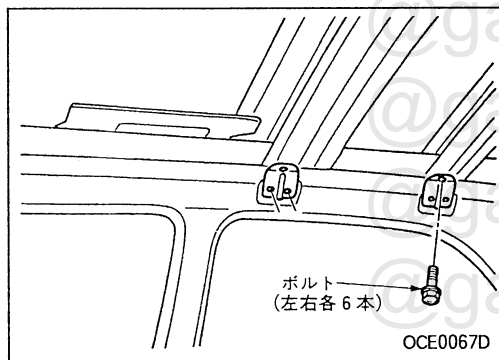
取り外し (続き)



5. サンルーフスイッチブラケット (ボルト2本、スクリーン2本) を取り外す。

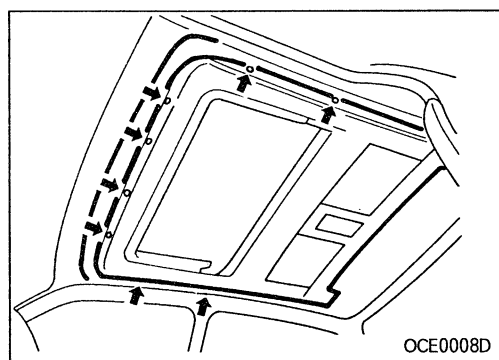


6. 左側ルーフサイド部のアンテナフィーダー線のクリップ (5箇所) を外し、フィーダー線をずらす。



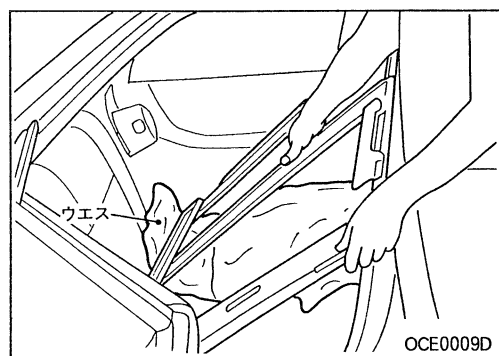
7. サンルーフユニットブラケット取付ボルト (12本) を外し、ユニットブラケットを取り外す。

注意： 後端のユニットブラケットは、サンルーフユニット側ボルトのみ取り外し、ユニットブラケットは、仮保持用として車体側に残しておくこと。

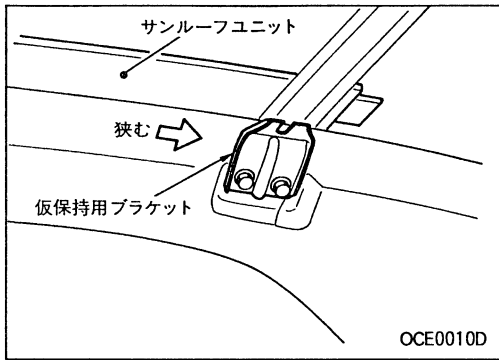


8. 前端及びサイドの取付ナット (10個) を外し、サンルーフユニットをルーフパネルより外す。

注意：
• サンルーフモーターASSYはユニットに取り付いた状態でも可。
• サンルーフユニットを分解する時は、リンクASSYを全開状態にした後、モーターASSYを取り外してからサンルーフユニットを外すこと。



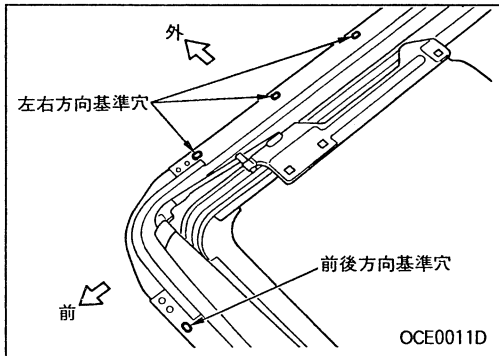
9. インstrument及びドア開口部周辺に傷を付けないよう注意しながら、サンルーフユニットを助手席ドア側より車外に取り外す。



取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- サンルーフユニットを室内に入れた後、後端の仮保持用ユニットブラケットに、サンルーフユニットを挟み込む。



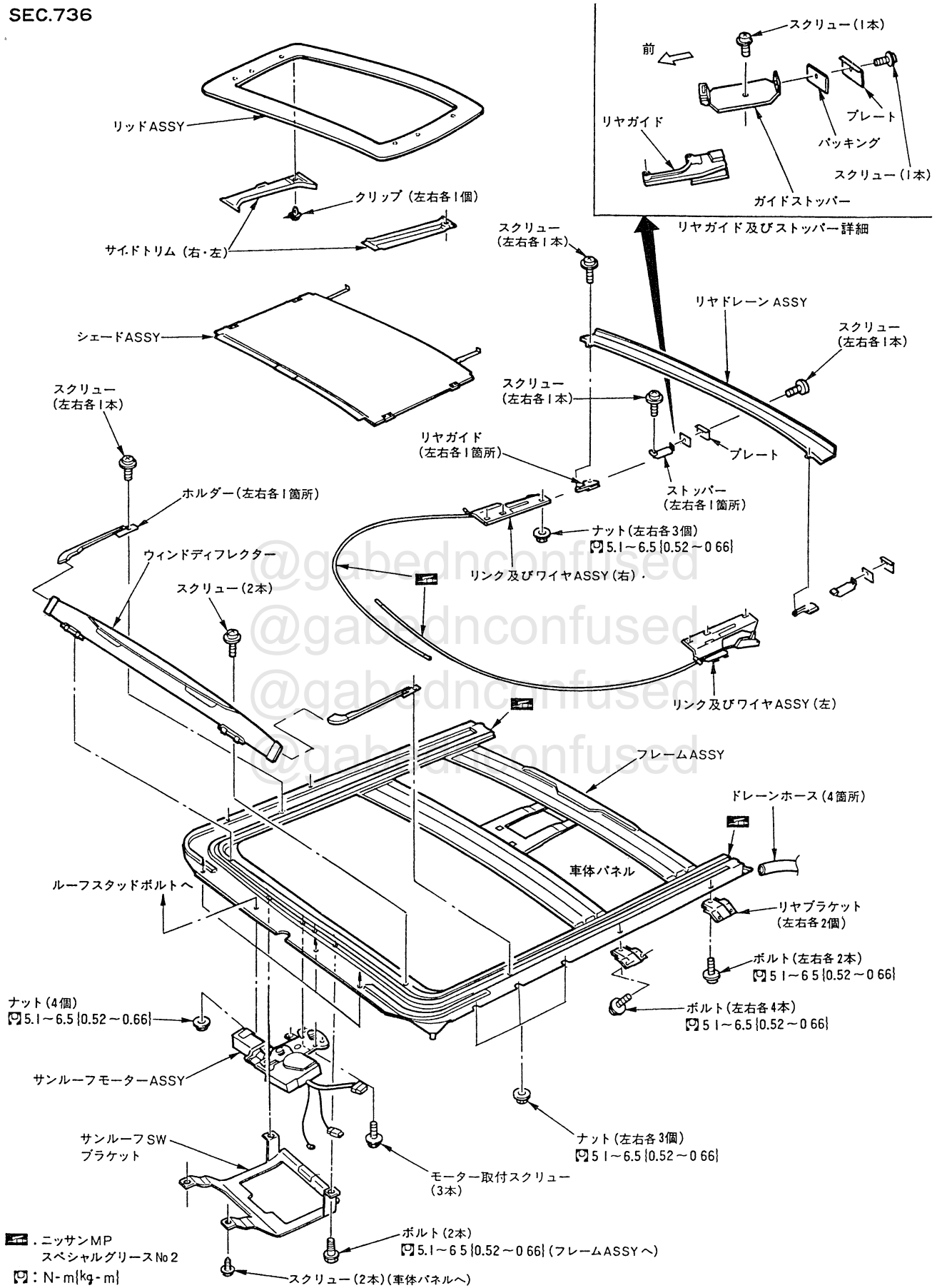
- 前端部は、運転席側のスタッドボルトにサンルーフユニットの位置決め用穴を合わせて、前後左右の調整を行った後、ナットを取り付ける。
- 位置決めを行った後、ユニットブラケット取り付け開口部の高さを調整しながら、取付ボルト及びナットを規定のトルクで締め付ける。

締め付トルク (N-m {kg-m}) : 5.1 ~ 6.5 {0.52 ~ 0.66}

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

サンルーフ

SEC.736

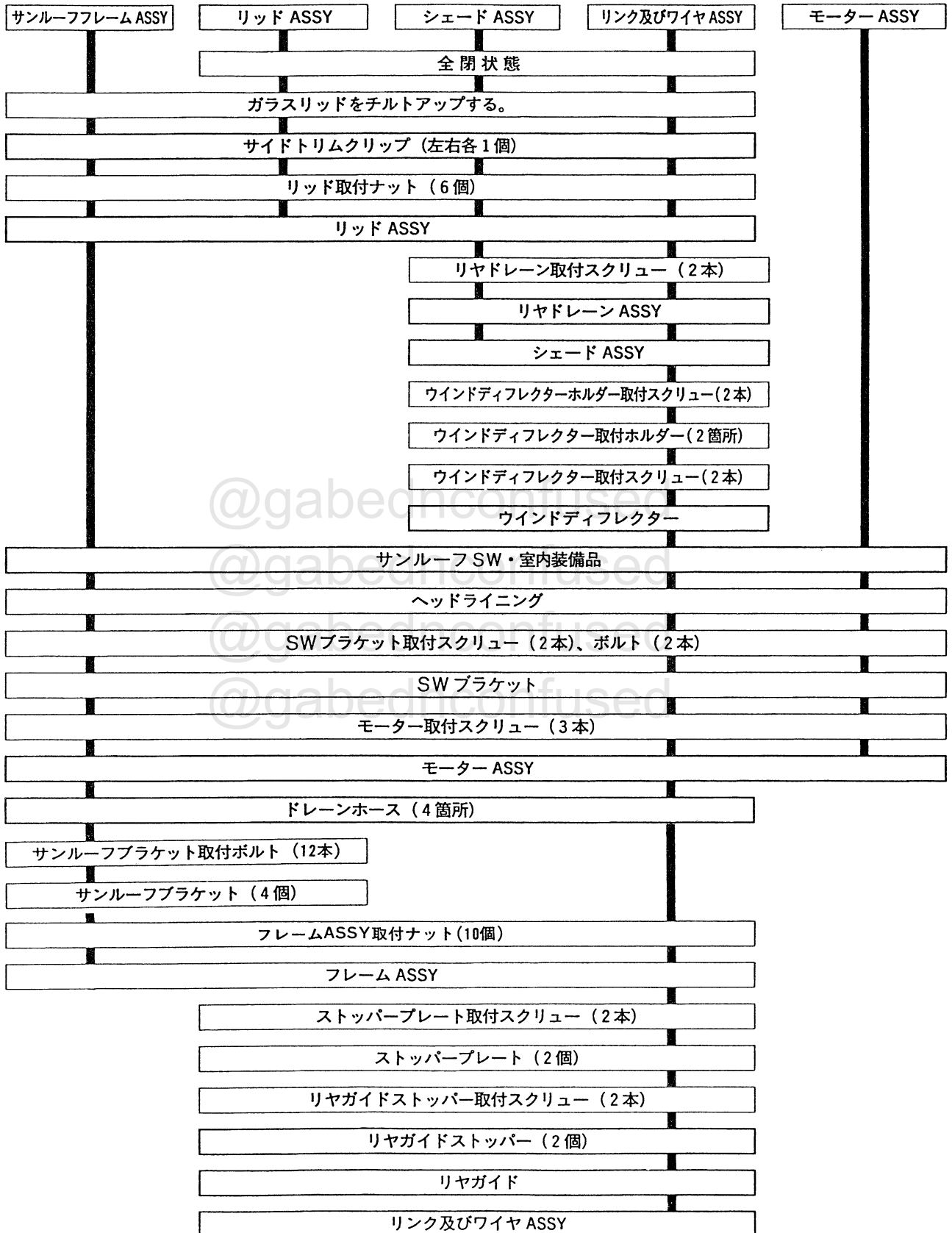


OCE0069D

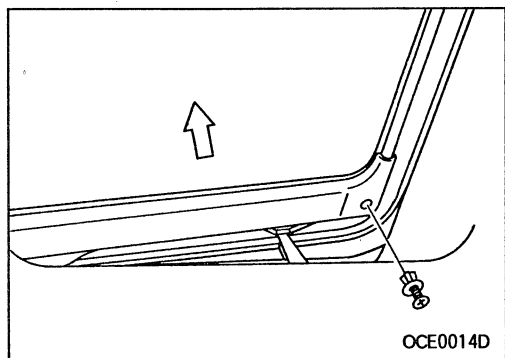
サンルーフ

作業別チャート

- サンルーフフレームASSYの作業手順は下記を参照のこと。



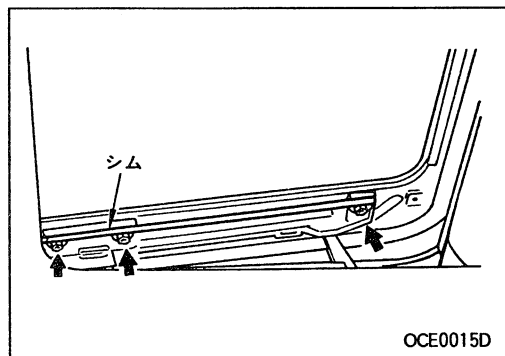
OCE0070D



リッドASSY

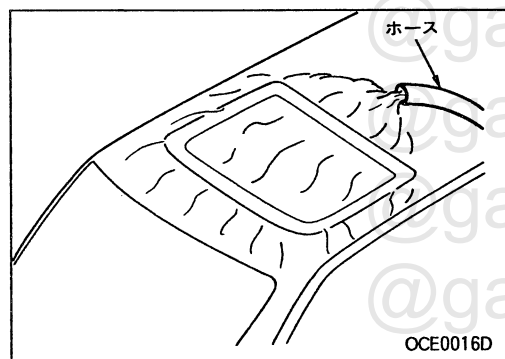
取り外し

1. ガラスリッドをチルトアップさせる。
2. 取付クリップ（左右各1個）を外し、サイドカバーを外す。



3. 取付ナット（左右各3個）を外し、ガラスリッドを取り外す。

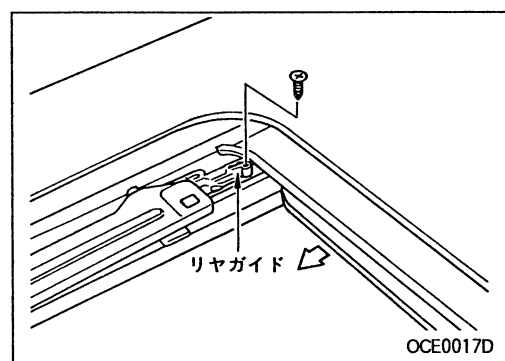
注意：ガラスとリンクASSY間にシムが挿入されている場合は枚数を確認しておく。



取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

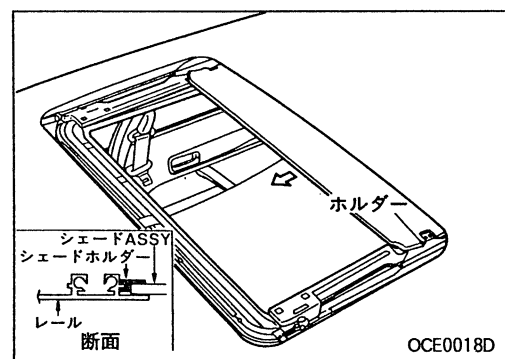
- ガラスリッド取り付け後は、チルトアップ・ダウン、スライドオープン・クローズを行い、ガラスリッドがスムーズに収納されるか確認する。
- 取り付け後、建付調整を行うこと。
（「MA編主な点検調整要領サンルーフ」の項参照）
- 建付調整後はホースでルーフ全体に水を流しながら、水漏れ試験を行うこと。水漏れがあるときは再度建付調整を行うこと。



シェードASSY

取り外し

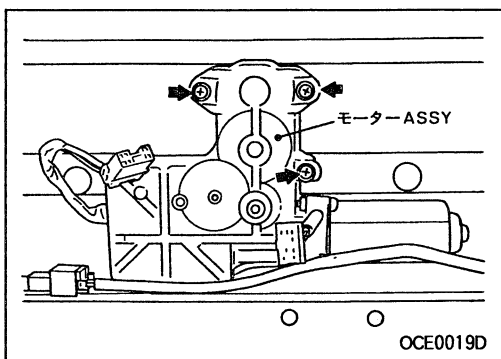
1. ガラスリッドを外す。（「リッドASSY」の項参照）
2. 取付スクリュー（左右各1本）を外した後、前側に引いて引っ掛かりを外し、リヤドレーンを取り外す。



3. サンルーフスイッチを操作しリンクASSYをチルトダウンさせる。
4. レールよりシェードASSYのホルダーをマイナスドライバーで外した後、前側に引いてシェードASSYを取り外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

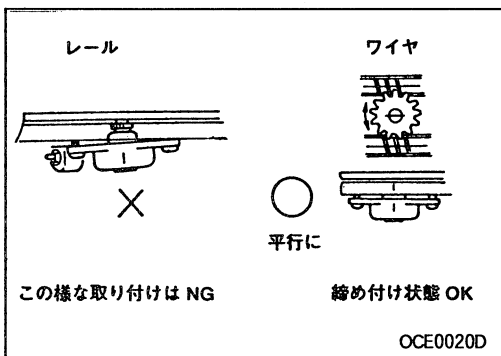


モーターASSY

取り外し

1. ヘッドライニングを外す。(「BI編ヘッドライニング」の項参照)
2. 取付ボルト (2本) ・スクリュー (2本) を外し、スイッチブラケットを外す。
3. 取付スクリュー (3本) 及びコネクターを外し、モーターASSYを取り外す。

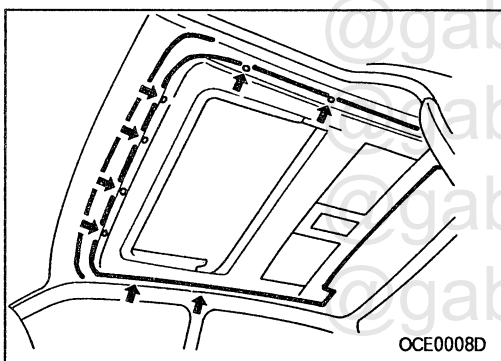
注意 : モーターASSYの取り外しは全閉状態又はチルトアップ状態で行うこと。



取り付け

- モーターASSY取り付けは、モーターのギヤがワイヤに完全に噛み合うよう左右少しずつ回転させ、取付面が平行になるようになじませながらモーターをスクリューで固定する。

注意 : リンク及びワイヤASSYを左右対称位置にしてからモーターを取り付けること。

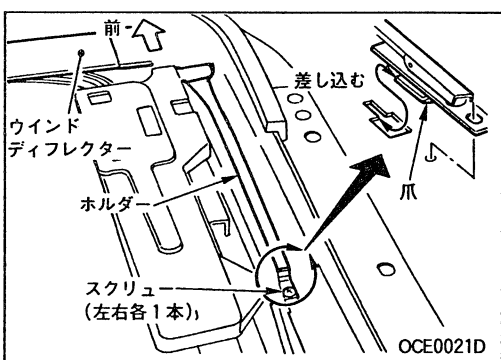


サンルーフフレームASSY

分解

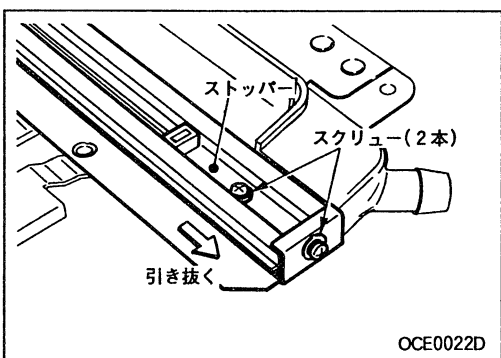
1. サンルーフフレームを取り外す。(「サンルーフユニット」の項参照)

注意 : サンルーフユニットを分解するときは、取り外す前にリンクASSYを全開状態にした後、モーターASSYを取り外して、サンルーフユニットを車両から取り外すこと。



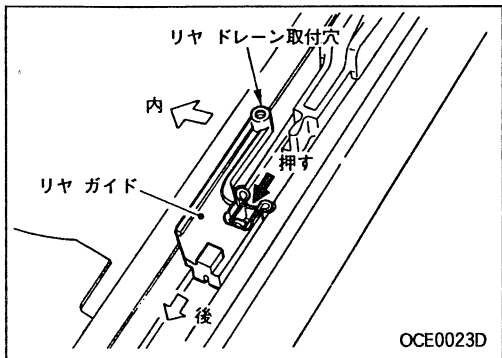
2. リンクASSYを全開にする。
3. 取付スクリュー (左右各1本) を外した後、レール穴より爪を抜いてウインドディフレクターホルダーを取り外す。
4. 取付スクリュー (2本) を外して、ウインドディフレクターをフレームASSYより取り外す。

注意 : ウインドディフレクターは車載上での分解が可能。

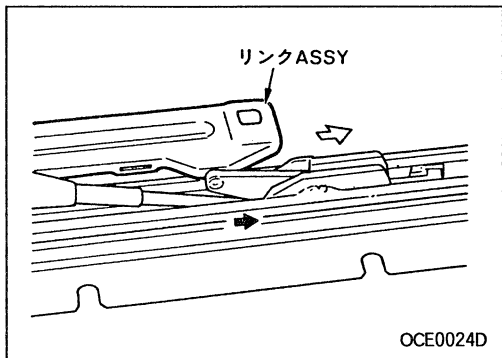


5. スクリュー (2本) を外し、ガイドストッパーをレールより引き抜いて取り外す。

分解 (続き)

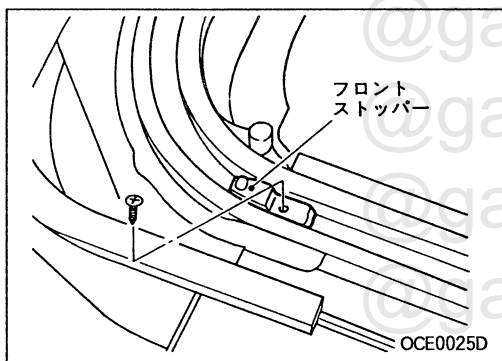


6. 左図矢印部をマイナスドライバー等で押し、レール溝部よりストッパーのスプリング掛かりを外し、リヤガイドを後ろにスライドさせて取り外す。

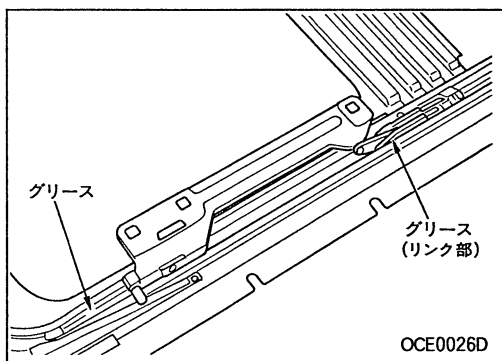


7. 左図箇所（リンクASSYの根元部）にドライバーを当て、リンクを押しながらワイヤとリンクASSYをレールより取り外す。

注意：リンクASSY取り外しはモーターASSYを取り外した状態で行うこと。

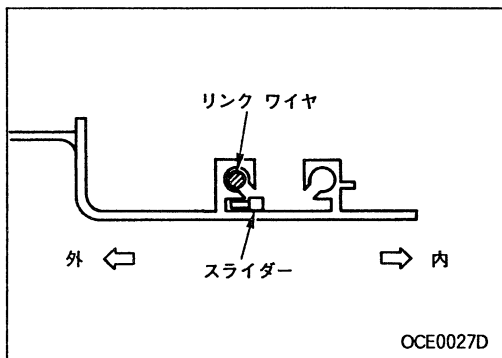


8. 取付スクリュー（1本）を外して、フロントストッパーを取り外す。



点検

- レール溝部及びワイヤ等にグリースが不足しているときは、グリース「ニッサンMPスペシャルグリースNo.2」を塗布すること。



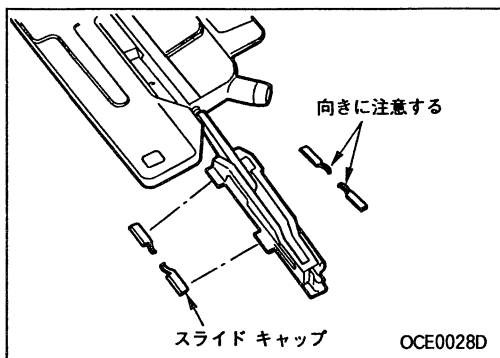
組み立て

組み立ては、下記の作業に注意し分解の逆の手順で行う。

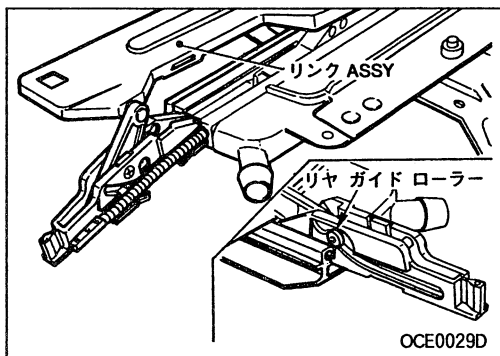
- リンク及びワイヤASSYをレールに挿入するとき、スライダの挿入位置及び左右のワイヤの挿入位置を間違えないように取り付ける。

サンルーフ

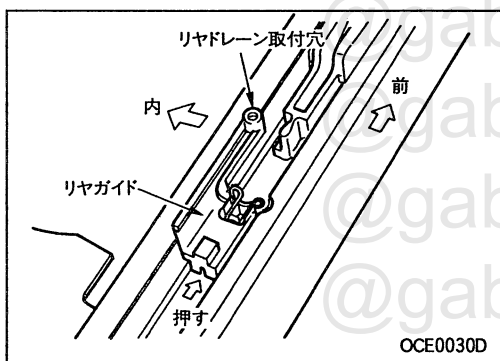
組み立て (続き)



- リンク及びワイヤASSYのリヤガイド部スライドキャップは、左図のように爪が互いに内側を向くように取り付け、レールに挿入する。



- リンクASSYをレールに取り付けるときは、チルトアップ状態で取り付ける。
- リヤガイドローラーは左図位置の状態にして取り付ける。



- レール溝部にスプリングが確実に入るまでリヤガイドをスライドさせて取り付ける。
- リヤガイドのリヤドレーン取付穴を必ず内側にして取り付ける。

MEMO

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused